

病院における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	9～10	冷凍力ボチャを包丁で切り刻む作業を行っていた際に、包丁が滑って左親指を誤って切ってしまった。	37	364	8	100～299
2017	1	8～9	職員駐車場に車を止め、職員玄関に向かう途中、正面玄関前にて氷に足を滑らせ仰向け状態に転倒し、頭部を強打する。その他に尻を強打しており、当日に痛みはなかったが、翌日に腰部痛が発生し、尾骨骨折だと分かった。	56	719	2	100～299
2017	1	1～2	病棟夜勤業務の際、病室を巡回していたところ、病室入口付近にある室温調整器のカバーに右肩を強打し負傷した。当時屋内には電気がついていなかったため暗く、室温調整器のカバーが見えにくかった。（以前にも同じ所で右肩を強打している。）	53	391	3	50～99
2017	1	18～19	帰宅のため職員玄関を出て歩行し、4m時点で右足から滑り、バランスを崩し転倒し、臀部を強く打ち仰臥位に倒れた。しばらく（3分位）動けず倒れていたが、何とか自立で起き上がり歩行して帰宅した。地面の状況は、暖気で水たまりの下がアイスバーンの状態であった。そのあと自宅に戻り、痛みで動けなくなった。	46	719	2	—
2017	1	8～9	職員玄関まで歩いている途中、病院建物1Fの連絡通路が凍っていて気をつけて歩こうと思い、右足を出したときに滑って体が浮いた様になり、右側から落ちて地面に叩きつけられ、骨折した。	58	719	2	100～299
			被災者は学会で出張中、宿泊していたホテルのベッドで睡眠中、早				300

2017	1	4~5	朝睡眠から醒めてトイレに行こうと立ち上ろうとした瞬間、右肩から床に落下し、右肩は変形していた。	69	379	1	~ 499
2017	1	8~9	職員駐車場から病院に向かって歩いている途中、滑って転倒し、左肩を打ってしまった。徐々に痛みが出現した。	64	417	2	1000 ~ 9999
2017	1	10~ 11	1人で軽介助の患者のオムツ病衣交換後ベッド上で体勢を整えようと、患者を移動した際に、腰部・右股関節に痛みがあり、その後に痛みが増強し、歩行困難となった。	35	921	19	300 ~ 499
2017	1	10~ 11	訪問看護施設（助手席1名同乗）訪問に出るため、駐車場から右方向に車道に出ようと停車し、交通量が多いためタイミングをみていた時、バックしてきた車が左後に追突した。その際、当方の左後のバンパーがずれて浮いた。	46	231	6	1000 ~ 9999
2017	1	8~9	出勤時、更衣室の前でつまずき転倒し、両手・両膝をつき打撲した。	57	417	2	100 ~ 299
2017	1	10~ 11	手術後の患者をストレッチャーに移乗する際、腰を痛めた。	30	921	19	
2017	1	20~ 21	夜勤中、介護職として勤務する2階の病室において、ベッドの中の患者の位置を上部にずらそうと、1人で抱きかかえた時、急激に腰に重さがかかり、ギックリ腰と肉ばなれとなった。	59	911	19	100 ~ 299
2017	1	8~9	清掃作業中の部屋の扉を開け、部屋に入る際、清掃用具が扉にひっかかり、前に転んだ。	72	379	2	300 ~ 499
2017	1	5~6	病棟内病室にてリネン交換時に、運んでいたリネンに躓き、足を捻った。	57	611	19	100 ~ 299
			患者の入院受け入れ準備に従事中、同僚と共に2人で片付けられて				

2017	1	11~ 12	いたベッド（スチール製、幅110cm×長さ195cm）を倉庫から運び出そうとしていた際、倉庫出入り口の間口の幅が90cmしかなかった為、当該ベッドを斜めにして運び出そうとしたところ、腰部に急激に負荷がかかり負傷した。	43	391	19	300 ~ 499
2017	1	8~9	階段を踏みはずし受傷した。	42	413	2	10~ 29
2017	1	1~2	勤務が終わり、病院を出て車へ向かう際、路面が凍結しており足を滑らせ大の字に転倒、後頭部及び背中周辺を強打した。	61	417	2	300 ~ 499
2017	1	10~ 11	病室で患者を車椅子からベットへ移動しようとして、両脇を抱え立ち上がり、体の向きを変える一連の動作でタイミングがずれ自分の体で支えていた患者の頭が左脇を圧迫し、左肋骨を骨折した。	56	921	19	100 ~ 299
2017	1	9~ 10	駐車場に車を止めて病院敷地内を歩いていたら、地面が凍結していて滑って膝をついて受傷した。	60	719	2	
2017	1	4~5	早朝の出勤時、駐車場に車を止めて職員通用口に向かう途中で、一部氷っていた部分があったが気づかず、その上を歩いたため転倒し骨折した。	53	419	2	100 ~ 299
2017	1	10~ 11	厨房にて、野菜を鍋で茹でた後、沸騰した鍋をコンロから後方のシンクに移動させようとした所、手を滑らせて、熱湯が右足・左肘・両大腿にかかり、火傷を負う。	35	379	11	100 ~ 299
2017	1	14~ 15	病室にて、患者様を車イスからベットへ移乗させた時、患者様の強い拒否・抵抗があり、移乗する方向とは逆方向に引っ張られながら作業したために、急性腰痛、左股関節痛及び左肩関節痛が発生した。	50	911	19	300 ~ 499
2017	1	16~ 17	3階病棟病室で夕食前に患者におしぼりを配っていた。ベット周囲に配線があり気を付けていたが、電気毛布のコードが垂れ下がっていたのに、上に布団が掛かっているのに気づかずにつまずき、右肩から	64	417	2	500 ~

			転倒し、床へ右手を強打した。帰宅後、右手関節に痛みと腫れが生じた。				999
2017	1	9～10	病室の清掃を終えて部屋から出ようとした時に空気清浄機のコードに足を引っ掛けて転倒し、右ひざと左の手のひらを床にぶつけた。	66	419	2	100～299
2017	1	19～20	階段を手にカストを持ち上げようとした時、足先がつまずきバランスを崩し、手摺を掴もうとしたが掴めず、後方に転倒し、左手を強くついた。	43	413	1	100～299
2017	1	8～9	3階病棟病室に患者さんのバイタル測定のため訪室した際、電気毛布のコードにつまずいて膝をつき、左足を負傷した。	66	418	2	100～299
2017	1	0～1	職場の南側駐車場で、準夜勤の勤務が終わり、帰路のため駐車場に停めてある自分の車に向かう途中、除雪された雪が日中に溶けており、夜に氷点下になった事で、雪どけ水が凍結し、足を滑らせ転倒した。	60	417	2	100～299
2017	1	11～12	2D病棟お風呂前にて入浴介助中、患者の上半身を本人が下半身を他スタッフが抱え、ベッドから入浴用のストレッチャーへ移乗させようとした際、床に水があったため滑り、転倒した。抱えていた患者をかばったため、患者の体が左膝の上に落ち、左膝内側の半月板を損傷した。	51	417	2	100～299
2017	1	8～9	出勤時、外来正面玄関横のゴミ箱付近歩行中地面が濡れており、滑って体勢を崩し転倒する。転倒時、前方向に転倒したため右手が体の下敷なり、右肘が胸部辺りに当たり、一時呼吸苦となり動けなくなる。	50	417	2	50～99
2017	1	23～24	夜勤中に電子カルテを操作していた際、ナースコールに対応しようと立ち上がった時、足組みをしていた右足にバーコードリーダーのコードが引っかかり、バランスをくずし転倒し、左臀部から股関節周辺を強打した。	60	379	2	500～999

2017	1	12～ 13	昼食のお膳を片手に1人分ずつ（計2人分）持ち運んだ際、部屋の入口付近で床に躓きバランスが崩れ、左側を下にして転倒し、左肩と左膝を打撲した。左膝を内出血し、打撲痛があったが、歩行は可能であったため仕事を続けた。記録時に左肩の痛みが感じられ、左肘は曲がるが左腕を上げることができなくなり、後日に左肩腱板損傷の診断となった。	64	416	2	500 ～ 999
2017	1	13～ 14	病室内にて、他スタッフ1名と、患者を浴室に移動させるため、ベットからストレッチャーに移乗しようとして2人で持ち上げた際、腰から「ボキッ」と音がして、足に力が入らなくなってしまった。	26	911	19	100 ～ 299
2017	1	10～ 11	病理検査室内で、机で記録をしたあと立ち上がって移動しようとした時、机の隣の棚につまずいて、左足を捻り転倒した。	43	391	2	100 ～ 299
2017	1	15～ 16	管理棟別館1階のゴミ貯留排出機にゴミを捨てようと、ゴミ貯留排出機に取り付けてある鉄製の3段ある階段を上り、蓋を開けてゴミを捨てた。その後、気づいた時には階段下に転落しており、直前の記憶がなく、詳しい状況は不明である。	49	413	2	—
2017	1	10～ 11	下駄箱前で靴を履きかえた後、立ち上がる際にバランスを崩して左側に転倒し、左大腿部のあたりを強打した。その後、疼痛があり、左大腿骨頸部骨折と診断された。	61	921	2	300 ～ 499
2017	1	16～ 17	利用者の送迎中、利用者自宅前の道で両手引き介助を行っていた時、利用者が5cm程の段差でバランスをくずし転倒しそうになったため、支えるため引っ張り上げる動作を行ったとき、両上肢と腰に負担がかかった。	38	921	19	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	利用者の安静場所となっている高さ40cmある所から床に下りようとした際、足がすべり尻もちをつき、左手を床についた。当初はあまり痛みを感じなかったが、徐々に痛みが出てきた。	61	419	1	50～ 99
		10～	浴室で患者の入浴介助中、洗面器を持って掛け湯を貯めた槽の所へ				300

2017	1	11	歩いて移動していたとき、足を滑らせ転倒し、頭部と腰部を強打し負傷した。	46	416	2	～ 499
2017	1	8～9	出勤し、院庭を通過して管理棟へ移動中につまずき転倒し、右手をついた際に右上腕部を骨折した。	61	417	2	100 ～ 299
2017	1	13～14	施設内の利用者居室で、利用者の口腔ケアの介助を行っているとき、口腔ケアを終えた方のガーグルを受け取りに行こうとした。そのとき急に利用者が歩行器を出したため、それに躓いて転倒し、大腿部を強打した。	53	417	2	100 ～ 299
2017	1	9～10	患者が入浴後病室に戻ってきた際、ストレッチャーからベッドに移動させようと、本人はストレッチャー側、患者はベッド側に立っていた。患者が大柄の男性だった為、ストレッチャーから患者を送り出す時に体勢が崩れ、右足腓腹筋を痛めてしまった。	49	921	19	300 ～ 499
2017	1	11～12	病棟ナースステーションで患者見守り中、「トイレ、トイレ」という訴えがあり、興奮している様子もあったので、車椅子トイレへ連れて行った。認知症があり、指示動作が入りづらかった為に、便座に座る前にズボンと下着を下げるよう話すが、そのまま便座に座ろうとした為、ズボンと下着を下げようと介助したところ、患者が左手で腹部を力強く殴るように拳で叩いた。	33	911	6	500 ～ 999
2017	1	10～11	入院病棟裏のリネン類の搬入・搬出口にて、感染性衣類を持ち専用のボックスに入れようと歩行中、足元に2m径の排水パイプが置いてあり、足がそれに当たり、右膝から地面に着く形で転倒した。	60	416	2	300 ～ 499
2017	1	18～19	精神科保護室にて、患者に食事を職員2名で持っていき対応しようとした際、現認者が扉を開けたとき患者が飛びだしてきて、襲いかかってきた。その際、被災者が制止しようとしたが押さえられず、患者に片手で投げとばされ、肋骨を負傷した。当初、痛みがあるものの我慢していたが、症状が悪化した。	66	911	6	100 ～ 299
			病院スタッフステーションにて、車椅子座位保持中の患者様（認知				

2017	1	8~9	症)が姿勢を崩してずり落ちそうになっていたため、看護師2名で中腰になり持ち上げようとしたとき腰部に激痛がはしり、右下肢が痺れて一時立位不能となった。元々腰痛があるが、ベルトを使用しなくても良い程度のため使用していなかった。	26	911	19	~ 999	500
2017	1	15~ 16	本館2階検査室にて、精神科の患者のエコーをとる際、本人が何度も立とうとして落ち着きがなく、介助していたが、本人が強く抵抗し、左手親指をつかみ外側に強く曲げた。直後に親指付け根が赤く腫れ、強い痛みが生じた。	43	911	90	~ 999	500
2017	2	15~16	地下浴室入口で入浴者様を運んでいたが、浴室入口が狭く少しスロープがあり、ストレッチャーの出入りが困難な為、ストレッチャーの移動の際、無理な姿勢となり、上半身をひねった。	55	921	19	~ 299	100
2017	2	9~10	2階に上がる時につま先で上がっていて、足を滑らせて踏み外した時に左足小指が階段に引っ掛かり骨折した。	39	413	19	50~ 99	
2017	2	8~9	公用車駐車場にて運行前に公用車の上に積もった雪を払った後、病院の正面玄関へ向かう途中、敷地内の道路(ロータリー)の凍っていたところに足を滑らせてしまった。その際、右足がスーッと滑り伸びた状態になり、左膝に体重がかかり曲がった時にバキッと音がした。(左膝は道路に打ちつけていない。)この時、同時に痛みもはしたため、病院を受診した。レントゲン撮影の結果、骨折していた。	68	719	19	~ 499	300
2017	2	11~12	病院敷地内の喫煙所から病院裏側の細道を通り食堂へ行く途中(昼休み中)、雪で傾斜になっていた凍結した路面で滑り、後方に転倒し臀部を強打した。	38	719	2	~ 999	500
2017	2	14~15	病棟の浴場更衣室で、入浴を終えた患者に靴を履かせる作業中に背中(右肩甲骨下から右脇腹にかけて)を痛めた。作業時、患者は車イスに座り、鏡のある壁に向かった状態で、患者の右側から左足(自分から奥側)の靴を履かせていた。中腰の状態で作業をしている間、背中に違和感があり、一度背中を伸ばそうと立ち上がった	42	921	19	~ 499	300

			際に激痛があった。翌日、学会出張のため移動したが、痛みが増したため、出張先にて受診した。				
2017	2	11~12	2階東病棟室内にて、患者の体温測定施行中の患者のベッド柵に取り付けているハルンバックの付属の紐に右足が引っ掛かりその影響でバランスを崩し臀部から床に転倒した。	57	419	2	100 ~ 299
2017	2	11~12	派遣先で、患者様の体勢がベッドの下方へ崩れていたため、身体の下にバスタオルを敷いて向きを直し整える際、自分側に患者様の身体を引っ張り直すのに身体の高い患者様だったため力を入れ過ぎて肘を痛めた。	56	921	19	30~ 49
2017	2	15~16	帰宅途中、路上で報告者が乗車していた自家用車が対向車線へ入り、トラックと正面衝突を起こした。原因としては、睡眠不足が原因による仮眠状態が事故を引き起こしたとの見解である。	39	231	17	1000 ~ 9999
2017	2	10~11	2階浴室に於いて、入浴のため車椅子から入浴用車椅子へ入院患者を移動する業務に従事していた。その際、中腰の体勢にて当該患者の前面より脇の下へ腕を通して持ち上げたところ腰部に鈍い痛みが生じ、腰部を負傷した。	31	999	19	100 ~ 299
2017	2	22~23	病院敷地内の駐車場で帰宅途中、駐車場の外灯が全て消えていて真っ暗な中、高さ80cm位の駐車場通行止めに右足が引っ掛かり転倒し腰を捻りながら強打した。	44	419	2	100 ~ 299
2017	2	11~12	訪問診療より帰院した際、総務に処方箋を取りに荷物を持ったまま裏口より入る時、段差につまずき受傷した。	44	417	3	100 ~ 299
2017	2	12~13	会議が終了し、勤務先に徒歩で戻る途中、歩道に足を滑らせて転倒し骨折した。	43	419	2	1000 ~ 9999
			オムツ交換時、経管栄養後の為ベッドアップの状態であり上半身が左に傾いていた。体勢を直そうとベッドサイド右側より、1人で患				300

2017	2	9~10	者の上半身を手前に引こうとしたところ背部に痛みを感じたが日勤業務を行った。背部痛、頸部痛があり受診したところ骨には異常なしとの事であった。再受診の際に頸椎捻挫と胸背部筋肉痛との診断にて、10日間の安静加療期間を要する。	29	911	90	~ 499
2017	2	8~9	病室で患者のオムツ交換を行い、その後患者を右側臥位にし、病衣の背中側を整えるために裾を引っ張った瞬間、腰に強い痛みが発生した。	43	911	19	—
2017	2	7~8	手袋着用の上、患者に採血を施行した。採血が終了し、抜針の際に針先の一部が出ていたが、それに気が付かず左第2指に刺した。出血は少量だった。後日、当該患者がHCV陽性であることが発覚した。その翌日、針刺し後の血液検査を行った。数日後、倦怠感、発熱があり受診した。その後、倦怠感と胃の不快感は持続した。その後の受診により急性肝炎にて入院した。後日、検査の結果原因は先日の針刺しが原因であったことが発覚した。	29	911	90	~ 9999 1000
2017	2	11~12	病棟5号室に於いて、患者の体位を整えるため、ギャジダウンドベッドの高さを変え、患者の左側より腰部と背部を支える様に前傾姿勢で両上肢を差し込んだ際、全介助であったため患者の体重が一気に腰部へかかり、スペースが狭く体勢を変更出来ないまま移動を行ったため受傷してしまった。	37	921	19	~ 999 500
2017	2	14~15	食器洗浄のベルトコンベアーで仕分けをしている時にトレーが詰まった為直す際にベルトコンベアー内のトレーを取る際にベルトコンベアーが稼働中の為、ベルトコンベアーのすき間に、指を挟んだ。	61	224	7	~ 999 500
2017	2	9~10	患者病室内にて患者の体位を変える際、ベッド上仰臥位であった。患者の上半身を支えた時に腰椎を捻挫した。	43	911	19	~ 299 100
			デイサービス室で配色配膳の補助をしている時に、左手側から歩いてくる人を避けるため腰をひねりながら作業を続け、その後も再び				500

2017	2	11~12	人を避けようとしてもう一度腰をひねった際に体のバランスを崩し転倒しそうになったところ、右手で体を支えようとして右肩関節と腰を打った。	68	911	19	~ 999
2017	2	0~1	リハビリテーション内にて患者訓練中に右下肢に過重をかけた時からの痛みである。	23	911	19	500 ~ 999
2017	2	9~10	調理室内で炊き上がった大釜をテーブルへ移動している途中、前から歩いて来たスタッフを避けた際、開いていた調理器具乾燥機の扉を持っていた大釜との間に手を挟んでしまい左示指を切創したとの報告を受けた。	67	529	3	300 ~ 499
2017	2	2~3	夜勤中、患者の部屋（個室）へ訪室すると、夜間せん妄により帰宅したいと強い訴えがあり、説得するも拒否あり。他スタッフへ救援要請中に患者が急に部屋から出ようとしたため、止めようとした際、首を絞められたり壁に体を強く押しつけられたりした。	25	921	90	1000 ~ 9999
2017	2	9~10	患者をベッド上に移動中に骨折した。	66	921	19	100 ~ 299
2017	2	13~14	病院内事務室にて、事務作業を終え椅子から立ち上がろうとしたところ、隣の椅子に足を引っ掛け転倒し、右足首を捻ってしまった。患者を待たせしていた焦りから、本人の不注意で発生してしまった。周囲に視界を遮るものや事故に繋がるようなものは置いていなかった。	38	379	2	1000 ~ 9999
2017	2	12~13	1階受付事務所内において、受付窓口の上部に据え付けてある棚（材質：木製、幅3m・高さ約1m・奥行0.3m）からカルテを取り出そうとした際、その棚が落下し、それが被災者の右前頭部と右肩に当たり、そのはずみで脚立からずれ落ち、床で背中などを打撲したものである。	47	371	1	—
			患者様の搬送を行っているその積み重ねで炎症が起こり痛みが有る				

2017	2	13~14	様になった。一人の患者様に対してベッドから移動用ベッド、その後スケールベッドへ、その後透析室ベッドへと3回（1日）移動を行う。この行動を最高12人程（1日）行う。	43	921	19	~ 499	300
2017	2	10~11	当院にて介護業務を主として従事しており、患者のオムツ交換のため体位変換をした際に左手に激痛が生じたものである。	27	999	19	~ 299	100
2017	2	13~14	住宅地の信号機がなり路地の交差点でバイク走行中に右から来た、軽自動車の助手席（左前輪後部辺り）に衝突した。	35	231	17	—	
2017	2	17~18	1病棟（病院施設内）において患者様がこぼしたお茶で床が濡れており気付かずにその場所を通った時、足を滑らせ転倒した。その際左膝を捻った。	46	417	2	~ 299	100
2017	2	16~17	詰所内で、パソコンに向かい作業をしようと座ろうとした椅子に他の職員が座ってしまい、本人はそのまま後方に転倒し、尾てい骨周囲を打撲した。	43	921	2	~ 999	500
2017	2	7~8	病棟で朝食の配膳中、転倒し左膝を打撲し、受傷した。	58	417	2	50~ 99	
2017	2	19~20	病室で患者の洗面をしようとベッドフレームに両足を接触させ立位で作業を行った。作業が終わり、身体の向きを変え移動しようとした時、転倒予防センサー（転倒ムシ）のコードに右足が引っ掛かり、絡まった状態で左斜め前方に転倒した。その際、左膝はACL装具を装着していたために屈曲できず、左膝を捻る形で打撲した。	56	416	2	~ 999	500
2017	2	14~15	患者に高周波電源の電極を大腿に貼付するため、患者の左側に入った。通常は右側から貼付することが多いが、右側に医師2名がいたため左側から貼付した。貼付後に右側に戻ろうとした際、ベッド下の足台に足を引っ掛けてしまい、右肩を打撲した。	62	417	2	~ 9999	1000
2017	2	15~16	病院浴場内において、被介護者の入浴介護作業中身体を移動させようとしていたところ、足を滑らせて尻もちをついた際に、臀部を打	54	417	2	50~	

			撲して尾骨骨折を負ったものである。					99
2017	2	8~9	病棟中の1階病棟から2階病棟に上がる1階階段踊り場で、患者様の洗濯物を大きな袋に入れて屋上の洗い場に運ぼうとした時に、洗濯物を入れる大きな袋を持ち上げ階段を上がろうとした時に袋の裾を踏み転倒してしまった。右側に洗濯物があり、右足は大丈夫だったが左足を打ちつけてしまった。	65	413	2		50~ 99
2017	2	7~8	自室にて利用者様をベッドからリクライニング車椅子へ移乗していた際、自力で身体を動かすことが出来ない状態である利用者様であった為、持ち上げる動作が必要であった。非常後右肩甲骨下方にピリッと痛みが発生する。	60	719	19		300 ~ 499
2017	2	15~16	「処方箋」を運んでいる時に自立式のホワイトボードの脚に躓き、転倒し、「処方受付」の取っ手で強く胸を打ち、左肋骨を骨折した。	67	417	2		100 ~ 299
2017	2	15~16	病室で患者のベッド交換時に、引く側のベッドに上がりマットを受けたが、勢いがつきすぎており、ベッドから押し出される形で床に転落した際、右手をついて受傷したものである。	43	911	1		300 ~ 499
2017	3	18~19	病室にて患者様の体交時に、左側を向いている患者様を上方向に向ける際に患者様の両肩の下に自身の手を入れ、向きを変える瞬間に肩にパチンという音と痛みを同時に感じた。	62	921	19		30~ 49
2017	3	9~10	病棟1階リネン庫内で包布を梱包しているとき、足元に置かれていた包帯に右足をつまずき転倒し、右肩と左膝を打撲した。	49	529	2		50~ 99
2017	3	8~9	駐車場内を歩行中、アスファルトが凍結しており、足を滑らせ後方に転倒し、左肘を強打した。疼痛はあるが業務を実施していたところ、徐々に疼痛が悪化し業務継続が不能となる。	48	719	2		100 ~ 299
			入院患者を他医療機関より当院へ搬送してきた際、ストレッチャーに横たわる患者を搬送車の機能により機械的に降車させたところ、風により患者が掛けていた毛布が飛ばされかけたため、横にいた被					

2017	3	10~11	<p>災看護師が咄嗟に一步踏み出し毛布を押さえた際、ストレッチャーを載せる台と地面との間に左足甲がつぶされる形となった。ストレッチャーを降車させる際は操作する係員以外は近寄らないこととしていたが、患者が寒がることを懸念した看護師としての職業観がこのような事態を招いたと考えられる。</p>	51	231	7	50~ 99
2017	3	18~19	<p>2F病棟で夜勤時、夕食が終わった患者を部屋に送りデイルームを通りかかったとき、水中毒の患者がコップで水を飲もうとしていた。水中毒だと頭にあったため、止めようとコップを取りに走ったところ、右手と右足が同時に出てしまい変な体勢になり腰を痛めた。後日に腰痛があり、思うように動けなくなった。</p>	46	921	19	100 ~ 299
2017	3	11~12	<p>外来棟2階会議室で新任職員向け研修を終了後、下の階に降りる際、上部より3段目の階段を踏み外して、中間にある踊り場に転倒し、頭部を強打した。意識もあり自力歩行もできたため、しばらく様子をみていたが、嘔吐が止まらないため救急搬送された。</p>	58	413	1	100 ~ 299
2017	3	8~9	<p>水の入ったタンクを加温器本体にセットしようとした際、腰に痛みがはしり痛めた。</p>	32	391	19	50~ 99
2017	3	11~12	<p>通路出口付近で昼食をとり病院内の食堂に行こうとした際、病棟に運ぶ配膳車を避けようとして前のめりに転倒した。その際に右口唇右側・両手・両膝を打撲し、そのあと徐々に右手首付近の腫張と痛みがあらわれた。</p>	60	417	2	100 ~ 299
2017	3	8~9	<p>仕事のため駐車場に車をとめ、走って道をはさんだ建物の職員用入り口付近（アスファルト）で前方に転倒した。その際に下顎を殴打し出血し、下顎が不安定となり、骨折のため入院した。</p>	52	911	2	30~ 49
2017	3	11~12	<p>病棟4階のスタッフ入口内でキャスター付きの台車に洗濯機を入れ、それを整理するため袋を取り出ときにキャスターが動くので足で固定させようとして、洗濯物を引き上げる際にキャスター付きの台車が動いてしまい、バランスを崩して膝を強打した。</p>	52	417	2	100 ~ 299
			<p>敷地内の駐車場脇の斜面を草刈機にて草刈り中、バランスを崩し転</p>				

2017	3	14~15	倒しそうになり、高所より飛び下り、下がコンクリートだったため、着地した際に右足第5指をぶつけ転倒した。そのあと腫れが引かず、右小指基節骨骨挫傷と診断された。	48	415	3	100 ~ 299
2017	3	15~16	屋外のプレハブ倉庫2階から下りる際、雨で濡れていた階段で足を滑らせて転倒した。	72	413	1	100 ~ 299
2017	3	16~17	厨房の清掃ゴミを片付けるため厨房の出入口の（裏側）の扉外の階段をゴミを持って降りようとしたところ、右足を滑らせて転倒し、右手を階段につき、右手首を骨折した。	64	413	1	100 ~ 299
2017	3	7~8	食事の準備の為、1人で全介助の男性の体勢を整えていたところ、男性が体に力を入れたため、腰に負担がかかりピキッと音がし、腰部に強い痛みを感じた。	45	921	19	100 ~ 299
2017	3	9~10	訪問介護の為、自転車で高齢者住宅へ向かい、入り口前で自転車を止めようとしたところ、バランスを崩して左側へ転倒し、左大腿骨頸部を骨折した。	57	362	2	30~ 49
2017	3	8~9	出勤時に病院敷地内の坂を下っているとき、急いでいたため片足のバランスを崩して足を捻った。	32	417	19	300 ~ 499
2017	3	5~6	流しにて経管栄養の片付けをする為に談話室を通過して往來していた際、長椅子の隣にある棚に入っていたダンボールがはみ出しており、それにつまずき転倒し、両膝と右手を負傷した。	63	611	2	300 ~ 499
2017	3	13~14	3階病棟から1階廃棄物集積場にゴミ袋（ビニール製、患者様の使用済み紙オムツ等が入ったもの）を捨てるため、3階から2階踊り場に数袋投げおろし、それを1階におろそうと2階踊り場に降りた。その際にゴミ袋を踏んでつまずき、左足を捻り転倒し、左足に痛みがはしった。	60	417	2	100 ~ 299
			病院の建物内にて、2F医局の前で先生方の食事の後片付けをしよう				100

2017	3	15~16	と食器を集め栄養科に持っていきこうと思っていたところ、テーブルの脚につまずき転倒した。	49	419	2	~ 299
2017	3	17~18	臨床検査部横のエレベーターホールにて閉まりかけたエレベーターの開閉ボタンを押そうと足を踏み出した際、雨傘から滴ったであろう水に左足を滑らせてしまい、転倒を踏みとどまろうとしたが、左足ふくらはぎを痛めてしまった。	41	417	19	~ 9999
2017	3	15~16	当病院内において、ベッド上で自力体勢できない患者のオムツ交換後、身体がベッドの下方にずれていたため肩と腰に手を当て上方にずらそうとした時に、腰に痛みを感じ歩行困難な状態となった。	54	921	19	~ 299
2017	3	11~12	4階病棟ナースステーション前の廊下にて、同僚を呼び止めようとしたところ、サンダルが床に貼りついたような状態になり、バランスを崩して転倒した。	63	417	2	~ 299
2017	3	14~15	経管栄養を作り廊下へ置いておいたところ、チューブから液体が漏れていたため、おしぼりで水ぶきをした箇所を自分で歩き滑って転んだ。	45	417	2	~ 299
2017	3	17~18	施設内において、夕食介助業務に従事していた際、利用者へ薬の入ったコップを配っていたとき、近くにいた別の利用者（リクライニング車椅子に横たわっていた）が突然起き上がり、車椅子から降りようとしたため、コップを持ったまま支えようと右手を伸ばすも支えきれず、右側臥位で転倒し、被災者の左足の上に利用者がもつれるように倒れ、左膝を骨折した。	46	911	6	~ 999
2017	3	10~11	健診センター倉庫で、ドック受診者へ案内書の発送準備中、棚の上を書いた封筒の束を取るため、パイプ椅子を使ったところ、座面の後方に立ったため、パイプ椅子が折りたたまれ落下し、第12胸椎圧迫骨折をした。	54	371	1	50~ 99
2017	3	8~9	当院栄養部の下処理室にて野菜の切り込み作業中、包丁の刃が滑り、左手人差し指の爪、皮フを欠損した。	53	364	8	~ 299

2017	3	16~17	廊下で駆け足で移動中、躓いて転倒してしまった。付近の状況としては、転倒場所に段差や滑りやすい状況は無かった。両手を伸ばし飛ぶ込むような姿勢で腕から転倒したため、左腕を内転するように床に叩きつけてしまった。左腕から肩に痛みがあり様子を見ていたが、痛みが増強し、肩・首・頭周辺に突っ張るような痛みが出現した。	41	417	2	100 ~ 299
2017	3	9~10	洗面所で患者A（身長161cm、体重80.5kg、男性25歳、知的障害）の洗面介助のため、患者Aの正面に立ち電動カミソリでひげを剃っていた際、患者Aが被災者の顔をなめるような仕草をしたため、患者Aの体を手で押さえたところ、患者Aが被災者の頭を両手で挟むように数回叩いた。両耳の閉塞感と音や声の聞こえづらさを感じるようになったが、その日は経過観察をすることにした。しかし、数日経っても両耳の閉塞感と聞こえづらさが続いた。	47	911	90	100 ~ 299
2017	3	11~12	昼食時に、全く動けない患者さんの食事介助のため、起こした時に左肩に痛みがありギクッとした感じがあった。当日は痛みも少なかったが、翌朝起きた時には左肩の痛みと左手を挙げたり、回したりすることが出来ない状態となっていた。	68	921	19	100 ~ 299
2017	3	10~11	内科外来診察室にて診察介助をしていた際、診察室入口で次の受診患者の来院を確認した後、医師の横を歩行中につまずいて前方に転倒した際、顔面と右上腕を床に打ちつけ、鼻出血、右頬部打撲、右上腕を受傷した。	50	417	2	1000 ~ 9999
2017	3	16~17	タクシーを待とうと病院の正面玄関の階段を下りる際に、階段が雨で濡れていて滑って負傷した。	69	413	2	30~ 49
2017	3	19~20	B3病棟食堂で看護夜勤勤務中、精神症状を有する入院患者が水を多飲しているところを他の看護師が注意し、コップを預けるようにながしていた。その時その入院患者が興奮し看護師に暴力をふるったため、背後から制止を試みたところ、患者の動きが大きくて患者と共に転倒し、腰部を捻った。	36	921	2	300 ~ 499

2017	3	10~11	当病院1F浴室において入浴介護中、リクライニング車イスから機械浴のベッドに移す時（2人で行っていた）、患者（体重62.4kg）の腰を持って移動した際に腰部に激痛が発症した。	17	921	19	~ 299	100
2017	3	10~11	病棟廊下で患者の尿失禁の対応中、オムツを取りに行こうと病室から出た時に、靴の裏に尿がついていたため滑り、中央トイレの前にある黄色の点字ブロックに躓き、とっさに手をつき転んだ。	54	418	2	~ 499	300
2017	3	10~11	特浴室にて入浴介助時、右下肢を軸に介助することが多く、ストレッチャーに患者移乗・移動の際、着用しているエプロンが長く、エプロンの裾を踏んで躓いた。転倒はしなかったが転倒しないように踏ん張ったため、右膝下から下部全体に痺れが生じた。	48	379	19	~ 299	100
2017	3	11~12	厨房にて、野菜の下処理（食べやすい大きさに切る準備作業）として電動スライサー（ある程度人の手で押し、最後は蓋で押し込むような形式）を使用しキャベツをスライス（約幅1cm、長さ5~6cm）していた際、1/4にカットされたキャベツを投入し、ある程度手で押し、キャベツの長さを調節する為（そのままの状態だと長くなる為）、電源を切らずにキャベツの向きを変えようとした時、指先に刃が当たり切ってしまった。	62	165	8	~ 299	100
2017	3	2~3	救急外来で夜勤中、救急患者が多く当日は休憩もとれない状況であった。午後より記録整理のため、処置室のパソコンを使用し、椅子に座っていた一瞬意識が遠のき、ふらついたため椅子から転倒し、左上腕肘から肩にかけて強度の打撲を負った。	58	921	3	~ 9999	1000
2017	3	17~18	5階病棟の廊下から詰所に入った際、他の職員が座っていたイスの脚に右足が引っかかり、前向きに転倒し、右手と右膝を強打した。	58	391	2	~ 299	100
2017	3	9~10	体重36.8kgの患者を4F病室のベッドで上向きに寝かせているところ、体交のため横から抱えて横向きにしようとしたとき、腰がピキッとなった。	44	911	19	~ 299	100

2017	3	6~7	病院内の自然分娩室での分娩後、患者の出血が多かったため、別室の分娩室の分娩台へ患者を移動させようとした。スタッフ4人でシーツを担架にして移動させる際、座った姿勢の状態から患者を持ち上げる形で移動させるとき、腰痛が出現し、左下肢にしびれを感じるようになった。	33	911	19	~ 999	500
2017	3	10~11	東病棟の患者を西病棟の特浴室までストレッチャーで一人で搬送中、腰を痛めた。	34	611	19	~ 499	300
2017	3	7~8	職員駐車場に車を止め勤務のため管理棟に向かい歩いていたところ、砂利道に足を滑らせ左足首を痛めた。	37	417	2	~ 299	100
2017	3	6~7	施設内に於いて入所者のおむつ替えをしようと入室した時に、入所者がベッドから転落しても大丈夫な様にベッド下に置いてあったマットレスを踏んでしまい滑って転倒した。	62	379	2	~ 299	100
2017	3	13~14	当院西2病棟内のナースステーション内において、当該病棟に入院中の患者様より、ナースステーション内の公衆電話を使用したいとの要望があり電話をかけていたところ、急に興奮状態で電話を切ったあと突然振り向き、側にいた看護師に殴りかかり、頭部や顔面にかけて殴られ、眼鏡が破損して右頬部に切り傷を負った。	57	911	90	~ 999	500
2017	3	10~11	病室で患者の体温・血圧を測り終えて歩き出した際、ナースコールのコードに足が引っ掛かり転倒し、右膝を床に強打した。	64	391	2	~ 499	300
2017	3	11~12	病室で患者様の見守中、入口ドアが開いていることに気付き、閉めようと移動したとき、転倒防止のため床に敷いてあった布団のシーツに足が絡まり転倒し、壁で左肩を打った。	44	379	2	~ 299	100
2017	3	10~11	保育に必要な用品（リボン等）を学外の店舗へ購入に行くため、通勤に使用している自家用車を駐車場に取りに行った際、駐車場の車止めブロックに躓き転び、左膝を強打し、左後十字靭帯断裂を負っ	48	418	2	~	1000

			た。				9999
2017	3	11~12	リネン室でスチール製の丸椅子を踏み台にして、棚の上段に衣類を片付ける作業をしていた。作業終了後、丸椅子から降りる際、靴を履こうと右足を靴の上に置いたところ、踏み外し受傷した。	63	911	19	300 ~ 499
2017	3	10~11	内視鏡センター第2内視鏡室で、鎮静下での上部内視鏡検査の準備中、診察台を外へ出そうとした。診察台の動きが悪く重いため、患者の申し送りをしながら後ろ向きで勢いをつけて動かしたところ、診察台が出入口の金属製の枠にぶつかり、右母指が挟まって負傷した。	47	611	7	500 ~ 999
2017	3	11~12	食養科の調理室で、使用済みの食用油を再生処理後に再生した油をフライヤーに入れる為、コロが壊れていた油処理機を移動中、処理機の油が一杯だったので中の油が跳ねて左腕にかかり、肘下から手首を火傷した。	61	391	11	500 ~ 999
2017	3	17~18	厨房室からB棟1階の入口付近で、5病棟それぞれの担当者が夕食の配膳車をエレベーターまで運ぶ為の移動中、自分の順番が来たので軽い傾斜の所を通過して平坦な所で押し始めたら、前方が詰まったので止まったところ、後ろの担当者がそのまま押して来たため配膳車と配膳車の間に挟まれ、左足首と左下腿部を打撲した。	58	362	6	100 ~ 299
2017	3	11~12	当院内2階病棟浴室脱衣所にて患者入浴介助途中、機械浴入浴後シャワーチェアに座っている男性患者を更衣用ベットに移乗し、オムツ、ズボンをはかせようと介助している時に患者が抵抗した為、無理な姿勢で着用させていたところ腰に痛みと違和感を感じた。	35	911	19	100 ~ 299
2017	3	12~13	病棟1階女室詰所内で昼休憩中、流し台にある自分のコップを取ろうとして湯沸かしポットの蒸気出口の上に右前腕部が当たり、お湯もちょうど90度から100度に沸騰中だったため火傷をしてしまった。すぐに患部を水道水で冷やそうとあてたため、上皮がはがれてしまい重症になった。	58	341	11	50~ 99

2017	3	11~12	訪問看護の仕事で訪問先の家を訪ねた帰りに、玄関の段差で足関節を捻った。	48	417	2	100 ~ 299
2017	3	4~5	夜勤中、病棟入院中の患者さんのオムツ交換及び体位変換を行っていた途中、左小指に痛みを覚えたが自制内であったが、次第に左小指の痛みと腫れが生じ、曲げる事もできなくなった。	54	921	19	100 ~ 299
2017	3	10~11	脱衣室にて、患者を入浴用のストレッチャーから移動用の車椅子（リクライニング式）に介助にて移動させた際、介護職員が急に車椅子を動かしたため、車椅子の右前輪で右足小指を踏まれた。	64	362	7	50~ 99
2017	3	17~18	ロッカーに続く階段を下りている時に一段踏み外し、右膝から崩れ落ち、歩くのもままならず、度々膝崩れを起こすようになった。	44	413	19	1000 ~ 9999
2017	3	16~17	夜勤のため出勤し、申し送りを受けるためキャスター付き椅子に腰を掛けた時にバランスを崩し、床に座り込んでしまった。その後、立ち上がることが出来ず、夜勤業務を続けられなくなった。	60	379	2	100 ~ 299
2017	3	14~15	通所リハビリテーション室において、手作り工芸品を滑車運動器に飾り付けるため、高さ45cmの椅子の上に立ち、取り付け作業を行う。作業終了後、椅子から降りようとした時に足を滑らせ、左側にバランスを崩し転倒し、頭部と身体を保護しようとして、左上肢の手首を受傷する。	63	379	1	50~ 99
2017	3	23~24	栄養管理室の調理場内で、粥椀に入れたお粥を患者さんのお膳に乗せようと運んでいる際に、手で3個積み重なるように持っていた粥椀のバランスをくずし、お粥が左前腕にかかり受傷した。	20	379	11	500 ~ 999
2017	3	9~10	7階病棟病室において、ベッドの布団及びシーツを整える作業（環境整備）をしていた。ベッドの脚側付近より手を伸ばし、中腰の姿勢でシーツを持とうと前傾姿勢になったところ、右側腰部に激痛を感じた。被災後は痛み止めを服用し、湿布貼付で様子をみたが改善されず、救急搬送された。	53	921	19	300 ~ 499

2017	3	21~22	仕事帰り、北駐車場への出入り口として使われている階段を下りる際、3段目を踏み外して手から地面につき、左手首を骨折した。	53	418	1	100 ~ 299
2017	4	12~13	病院内1階の上り階段部分で、透析室3階へ向かう上り途中、右足で階段を一段踏み外した。その時に右大腿部からボキッと音がして、うずくまった。	46	413	19	100 ~ 299
2017	4	10~11	当病院にて車イスで患者移送中に、病棟廊下にて左足を捻った。	27	921	19	50~ 99
2017	4	11~12	入院中の高齢女性患者の身体の位置がベッド足元側にずれていた為、1人介助で左手を足の所に右手で腰部を支え、枕の上へ戻そうと上方向に移動した時、左肩から左上肢に激痛がおこった。そのあと激痛が持続し、夜間眠れないほどの痛みだった。	49	921	19	300 ~ 499
2017	4	14~15	病棟内廊下にて、両手に体交枕を持ち歩いていたときにつまずき転倒し、左手をつき受傷した。	49	417	2	100 ~ 299
2017	4	14~15	病棟内通路にて、歩行困難な入院患者を誘導している際に無理な体勢となり、以前より痛みのあった右足に歩行困難な程の痛みが生じた。	52	921	19	50~ 99
2017	4	17~18	当院女子更衣室で、脚立に上り窓等の清掃を行っていたとき、清掃が終わり脚立から降りる際に高さを誤認し、足を踏み外し転倒し、左手をついて着地して、左手首を骨折した。	68	371	1	100 ~ 299
2017	4	17~18	透析室内において、C型慢性肝炎患者の穿刺後、使用済み穿刺針を廃棄する際に針を持ち変えようとして、誤って左手掌に針を刺してしまった。	39	911	90	10~ 29
2017	4	9~10	患者病室にて、両上下肢の硬さ（屈曲拘縮）があり、更衣が困難な患者に清拭、更衣を介護士と職員2名で行っていた時に、更衣の途中で激しい腰痛を感じ、体動困難となった。	53	911	19	500 ~ 999

2017	4	5~6	夜勤明け3階勤務室から病棟用の新聞を取りに勤務室にある非常口の出入り口を出る時、夜勤明けの疲労による注意力の低下のため左足首を痛める。夜勤者は通常、新聞受けが近いので非常口より外階段を使うことが多い。非常口の出入り口は15cm位の段差で、当時は履き慣れた靴を履いていた。	45	417	3	100 ~ 299
2017	4	7~8	勤務先の駐車場で車から降り、駐車場から病院へ向かうところ、じゃり道から道路に出る際の段差で右足首を捻ってしまった。	22	417	19	500 ~ 999
2017	4	15~16	患者のオムツ交換中、次の部屋に移動する際、部屋のカーテンの下に点滴を合わせる為の踏み台に躓き、左膝を強打してしまった。	53	371	2	100 ~ 299
2017	4	8~9	出勤時タイムカードの打刻後、地下更衣室で着がえをしようと更衣室の階段を下りている時に踏み外してしまい、左足を負傷した。	25	413	1	100 ~ 299
2017	4	9~10	病棟廊下のカートから洗剤ボトル（約1kg）を運ぼうとした際に手が滑り、左足首に落としてしまい疼痛、腫脹、皮下出血を負った。	46	379	4	500 ~ 999
2017	4	11~12	患者更衣室の排水口を清掃する為、洗剤をとりにラウンジを歩いていた時に転倒し、左手第5指を負傷した。	63	417	2	100 ~ 299
2017	4	8~9	患者食事後に配膳車を引っ張る形で移動させていたとき、自動ドアが閉まりそうであったが通り抜けられると思い、そのまま移動させたところ、左手首に自動ドアがぶつかり、左手首を骨折した。	55	419	3	100 ~ 299
2017	4	9~10	入浴介助作業のため、患者さんを車椅子から入浴用車椅子に移動してもらった際、患者さんの身体をささえて、自分の身体を左から右に捻った時に腹部の筋肉全体に痛みがあり、その後、痛みがひどくなった。	73	921	19	300 ~ 499

2017	4	15~ 16	患者様を車椅子に乗せて廊下を移送していたところ、後方のワゴンにぶつかってしまった。ワゴンには空の感染BOXが何個か積まれた状態で、その感染BOXが腰部に当たってしまった。患者を移送中だったため、ぶつかった際に受け身姿勢がとれず、腰に激痛が走りその場から動けなくなり、腰椎捻挫を負った。	32	379	3	500 ~ 999
2017	4	10~ 11	病室で患者さんをベッドから車椅子に移動しようと2人で抱えて移動しようとした所、負荷がかかり、バランスを崩し左足を捻った。痛みはあったが仕事を続けていたところ、痛みと腫脹が生じた。	58	921	19	500 ~ 999
2017	4	4~5	病院での夜間勤務中、車椅子利用者トイレからナースコールがあったのでトイレまで駆けつけドアを開け、中に入ろうとしたところ突然患者様が車椅子をバックさせてきたため、車椅子に体がぶつかり、バランスを崩し転倒し、右手首に疼痛と腫脹が生じた。	59	362	6	100 ~ 299
2017	4	16~ 17	院内の洗濯室に洗濯物を取りに行き、戻る際に足元にあった洗剤が入っているダンボール箱に気づかず、足がひっかかってしまいその場で膝から転倒してしまった。	74	417	2	100 ~ 299
2017	4	13~ 14	患者を車イスからベッドへ介助して移乗させた時、腰痛が出現した。	65	921	19	100 ~ 299
2017	4	14~ 15	調理場から、カゴ容器を日干しするために外部に出ようと非常出口アルミ扉を開けた際に強風で扉が閉まり、左手中指を挟まれ負傷した。	55	417	7	100 ~ 299
2017	4	14~ 15	ウェラー浴室内で患者にリハビリパンツとズボンの更衣援助中、右側頭部を叩かれた。自分以外にスタッフは2人援助に入っていたが、瞬時の動きで防御する事ができなかった。認知症があり入浴前から不穏状態で、攻撃的な発言やスタッフへの暴力行動がみられていた。	30	921	90	500 ~ 999
			病棟病室において、患者を支えながら床に敷いてある布団に寝かせようと誘導している時、患者が転びそうになったため、怪我をしな				300

2017	4	1~2	いようにかばった際にバランスを崩し、患者と共に倒れてしまった。その際に右親指付け根を床についてしまい、右手が患者の下敷きとなり、体重が右手にかかった。	52	417	2	~ 499
2017	4	15~ 16	手術室内で関節鏡下腿修復術を行っていた際に、関節手術用灌流液（アルスロマチック）を交換するために保温庫に向かった。その際、床にこぼれていた灌流液で足が滑り、転倒しないように足に力を入れたがひねってしまい、左膝から転倒した。床には給水マットがひいてあったが、少し離れた位置であった。	39	416	2	100 ~ 299
2017	4	15~ 16	法人内デイサービスにてレクリエーションの踊りをしている時に、直前に使用した旗が足元にあることに気付かず、左足かかとで旗を踏み転倒し、尻もちと左手首を着いた際に体重がかかり骨折した。	62	911	2	50~ 99
2017	4	10~ 11	2人でオムツ交換時、病室にてオムツ交換を行った。その後、左側に立ったまま左側臥位に体交を行ったが、患者の右足がベッド柵に当たりそうになったので、右手で患者の膝を支えようとし、ベッド柵の間に右第1指~2指間を打撲した。	62	379	3	100 ~ 299
2017	4	17~ 18	エレベーター扉前で配膳車を病棟に搬入するため扉を開けた際、患者が飛び出そうとしたため制止した際、患者より暴力行為を受け、眼の周囲及び両膝を受傷した。	55	911	90	100 ~ 299
2017	4	9~ 10	院内健康診断受診に係る採血室での採血にて、血管が出にくい為、手首近く（甲側）に針を刺し、採血をする。採血後、採血部位に痛み及び痺れが生じる。数日が経過するが、痛み及び痺れが取れず、蛇口を回せない等、日常生活に支障をきたしている。	53	364	8	500 ~ 999
2017	4	11~ 12	手術室から医療器具を運び出す際に器具を乗せたワゴンのキャスターが自動ドアの溝に滑落し、器具が転落するのを防ごうとした際に自身のバランスを崩し、左手を床に強くついた。	62	362	2	50~ 99
			病室内にあるポータブルトイレを患者さんが使用され、Pトイレからベッドへ移動するのを介助していた。その際、患者さんの足に				100

2017	4	7~8	力が入らず、Pトイレに座った状態で前方へ倒れてきた。患者さんの正面で中腰の状態では介助していた為、患者さんが上から覆い被さる形となり下敷きになった。	66	911	19	~ 299
2017	4	11~ 12	院内トランクルームにて、被災者（身長159cm）が立ったまま作業台（高さ76cm）で患者様のおむつの袋に名前を書く際に、おむつの袋を右側に落としてしまい、とっさに拾おうと上半身のみを右側にひねったときに右肩に激痛がはしった。	37	911	19	~ 100 299
2017	4	23~ 24	院内6病棟室内にて就寝中の患者様（男性高齢、理解度は低く意思の疎通が難しい、感情の起伏は激しい）のオムツ交換を行っていた。その際に突然対象者の正面から右前腕を掴まれ、上方にねじりあげられた。離そうと手を振るが力が強いので離れず、声を発し、他の職員と2名がかりで振りほどいた際、掴まれた右肩を痛めた。	51	719	19	~ 500 999
2017	4	14~ 15	駐車場にてリフト車から患者様を降ろした後、フックチャックがはずれていることに気付き、それを直して降車しようとしたところ、後部リフトを上げたままにしていた事を失念して転落し、腰部を強打した。	69	231	1	~ 1000 9999
2017	4	13~ 14	病室にて口腔ケアを介助施行中、認知症があり絶食点滴中の患者様に対し、口頭で開口を促し口を開けてもらったところに手袋をつけ、右手第2指にガーゼを巻いた手で口腔粘膜清掃をしようとした際に噛みつかれた。	34	719	90	~ 100 299
2017	4	13~ 14	閉鎖病棟内出入口近くで、看護師Aが受持患者を売店へ誘導するためドアを開扉して患者を外に出している時、帰宅願望のある患者Bと一緒に外へ出ようとしたため看護師Aが制止しようとして患者Bの左手を両手でつかんで引っ張ろうとした時に、両手がすり抜けるような格好で看護師Aが後方へ転倒し、第一腰椎圧迫骨折を負った。	53	417	2	~ 100 299
			患者の配茶準備の為、3F病棟の食堂の流し台でポットから配茶用の				

2017	4	9～ 10	キーパーにお湯を入れて、流し台の右側に置いた時にぐらついて、両手で持った時に左側に傾いて、左手にお湯がかかり火傷をした。立っていたキーパーの脚が、右側台に置いた時に一つ折れ曲がっていたため左側に傾いた。	52	379	11	～ 299	100
2017	4	18～ 19	病棟内の廊下で、夕食後歩行介助が必要な患者様を二人で病室へ誘導する際、自身は患者様の左側に立ち、左腕を握っていたが患者様の抵抗があり、立ち止まられたり座り込まれたりされた為バランスを崩し、左側足底部左第5足趾側に屈曲した状態で転倒した。	55	911	2	～ 299	100
2017	4	15～ 16	患者のオムツ交換の為、5階から6階へ階段を移動中に、最上段の階段のへりにつまずき転倒し、左手をついた際に左手橈骨・尺骨骨折を負った。	64	419	2	～ 999	500
2017	4	15～ 16	ナースステーションにて電話対応しており担当者に電話をかわろうとした時に、カウンターと机の間が狭く動きづらく他職員が来られた時のはずみでイスをよけきれず左アキレス腱付近を負傷した。様子をみていたが痛みが治まらず、歩行に違和感がでた。	25	911	3	50～ 99	
2017	4	13～ 14	ナースステーションで作業し、病室に向かう際にナースステーション出入口のところでつまずいて、ドアの枠部分に頭部を強打した。	60	417	2	～ 299	100
2017	5	12～ 13	3病棟看護師（被災者）が、3階から1階へ階段にて降りる途中、2階踊り場付近に到着した際に2病棟の廊下側から続く扉が開いたのを避けようとしてバランスを崩し、階段側を頭にして右側臥位に転倒し、右股関節付近を強打した。	59	413	2	50～ 99	
2017	5	10～ 11	2階病棟医療材料器材庫前で、資材搬入のため器材庫の上部にスペースを確認する作業をするため、荷車台車のストッパーをかけて台として上がったところ、台が移動し身体のバランスを崩して転倒し、左肘を強打した。	64	362	2	～ 299	100
			夜勤時、センサーマットが鳴ったため病室に駆けつけたところ、患者様がセンサーマットに足をつけたままベッドに座っていた。セ				50～	

2017	5	3~4	ンサーの解除を行うために詰所に向かおうと病室を出た直後、右足をひねり転倒し左膝を床にぶつけた。	59	417	2	99
2017	5	16~17	病棟の廊下を歩いている時、ナースコールが鳴ったため急いで病室へ向かおうとし、急に走り出そうと右足を踏み出した際にふくらはぎに強い痛みがはしった。	45	416	19	~ 9999
2017	5	15~16	入浴介助時に浴槽から患者様を出す時に、両手で機械浴用のリフトを手前に動かしたところ、左足の上にリフトのタイヤが乗り上げた。当初は痛みはなかったが、徐々に痛みと腫れが生じ、左第2趾基節骨骨幹部不全骨折となった。	50	362	7	—
2017	5	9~10	当院3階病棟にて、普段から暴力行為がある統合失調症の71歳女性患者を入浴のため、ベッドのまま入浴室まで移動した。患者の左側に立ち右袖の病衣を外し、左側を向かせようと手前に引き寄せた途端、患者が右手で被災者の右脇腹を3回程たたき、疼痛が発生した。疼痛が軽減したため自宅で様子を見ていたが、しばらくしても疼痛が治まらなかった。	49	911	6	100 ~ 299
2017	5	15~16	病室で転落防止のために床敷きしているマットレスに寝ている患者様を、2人1組で持ち上げて車イスに移乗させようとして、患者様の上半身を背中側から抱きかかえ車椅子に乗せようとした時、腰を捻ってしまい痛みが走った。	51	921	19	100 ~ 299
2017	5	11~12	病院栄養科調理室にて、下処理台から配膳車に向かうため小走りで移動していた時、濡れた床で足が滑り左前方に前のめりに転倒し、左手を床について左肘に負荷がかかり負傷した。	25	416	2	500 ~ 999
2017	5	8~9	出勤時、就業先敷地内の駐輪場にて路面の段差に躓き転倒し、左前腕部と右膝を路面に強打した。	26	417	2	30~ 49
2017	5	15~16	事務所内で移動中、ケーブルモールに躓いて（段差1.5cm）転倒した。	57	417	2	100 ~ 299

2017	5	11~ 12	病棟の浴室内で、患者入浴介助の片付け作業をしようと歩いている 転倒した。 サイズが大きい長靴を履いての作業だったが、おそらく ランドリーボックスに躓いたのだと思われる。 入力介助はルー チン作業となっていて内容・環境ともに慣れている。 当日は体調 も良好であり、床が滑りやすいという状況もなかった。	54	417	2	300 ~ 499
2017	5	16~ 17	病院調理室にて重さ10kgの業務用まな板を手で持って運搬中、手を 滑らして左足第3指と第4指の付け根付近に落とし、左足に激しい痛 みを感じた。	52	364	4	300 ~ 499
2017	5	11~ 12	病院内の整形外来待合室前で、患者様に診察終了後の会計ファイル を渡す際に、椅子の脚に躓き転倒した。	66	417	2	500 ~ 999
2017	5	17~ 18	日勤勤務終了後、帰宅するため砂利のある通路にて砂利に足を滑ら せてしまった時、膝がギグツとなった様な音がし、歩くのも困難な 状態となった。	53	417	2	300 ~ 499
2017	5	9~ 10	洗浄室にある乾燥機の前で台車を移動する作業中、台車の車輪が思 うように動かず意図しない方向に進んでしまい、乾燥機の扉と台車 の間に左手薬指が挟まった。	40	362	7	500 ~ 999
2017	5	8~9	病院の透析センターで、患者様をストレッチャー（患者搬送機具） からベッドへ移動した後、自分がストレッチャーとベッドの間から 出ようと移動した時、ストレッチャーの車輪に躓き転倒した。	58	362	2	100 ~ 299
2017	5	11~ 12	病院内で機械浴の入浴介助清掃後、使用したデッキブラシを隣りの 浴室に返却しようと廊下に出たところ、モップの柄に引っ掛かり転 倒した。	57	379	2	100 ~ 299
2017	5	14~ 15	リフレッシュ研修会で、スポーツ大会でドッジボールに参加中2回 転倒し足を2回捻って負傷した。	22	921	2	500 ~ 999
			D病棟2階介助者用トイレにおいて、患者様の排泄終了後、トイレ				300

2017	5	10～ 11	から車イスへの移動の際、患者様の前に立ちトイレから立ち上がる介助をした。介助をした際に腰に痛みが発生し、腰痛と左下肢のしびれが出現し立っていることが出来なくなりました。	42	921	19	～ 499
2017	5	6～7	病棟デイルームで車椅子の患者様をテーブルにつけた時、左斜め後ろにいた患者様の入れ歯が欲しいと言うジェスチャーに対応しようと身体を左に向け後ろへ下がろうとしたところ、テーブル席の車椅子の車輪に右足ふくらはぎが接触し後ろへ仰向けに倒れ、後頭部を打った。	61	379	2	～ 499
2017	5	16～ 17	医師の送迎で走行中、前方から相手車両が対向車線に進入して来たため、左側に避けたが相手車両と衝突した。その際に胸部等を強く打ち、頸椎捻挫等の負傷を負った。	51	231	17	～ 299
2017	5	16～ 17	業務終了後、帰宅のため病院職員運転の車の後部座席に乗車し走行中、前方から相手車両が対向車線に侵入し、正面衝突した。その際に腰部等を強く打ち、腰椎圧迫骨折等の負傷を負った。	58	231	17	～ 299
2017	5	15～ 16	患者様のオムツを交換後、車椅子に移行する際に力を入れ、腰に痛みが走り、歩くのも困難になった。	27	911	19	～ 499
2017	5	3～4	夜勤勤務中、入院中の患者を大部屋から個室へ移動させDVDを再生する準備をしていたところ、患者に後から両手で首を絞められた。振り解いた後も患者に髪の毛を引っ張られた。夜勤勤務中であつたため、看護師の人数も少なく、災害発生時は患者と被災労働者のみであった。	23	921	90	～ 499
2017	5	7～8	放射線科第1カテール室内で患者さんの抹消ルートを延長している際に、カテール台の下に潜り作業をしていた。滅菌操作で治療を行うためドレープが患者さんにかかっており、機械を操作する放射線技師から本人が作業している位置は死角となり、機械が可動氏右足を挟まれる状態となった。	39	169	7	～ 999
			病棟患者様浴室で入浴介助中、車椅子の患者様移動時、よろけた患				100

2017	5	10～ 11	者様を保持した際に右膝を捻った。一時激痛が出現したが、そのまま入浴介助を続けたところ、痛みで通常歩行も困難となった。	61	911	19	～ 299
2017	5	16～ 17	使用済みリネンの保管場所にて、回収して来たリネン袋（重さ10kg～20kg）をキャスター付の専用台車から取り外し保管するため、台車に固定している袋を外し床面に置き、袋を閉じるために袋上部の紐を両手で持ち上方へ引っ張り上げたところ、右手の持ち方が不十分であったために右手の親指が紐に引っ掛かり、右手がねじれた。	44	611	7	50～ 99
2017	5	15～ 16	病院3階手術室の休憩室において、モップで床掃除をしている時に右足がもつれ、後ろ向きに転倒し、後頭部を戸棚にぶつけた。立ち上がろうとしたが、痛みで歩行できなかった。	29	921	2	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	契約業者が病院内の清掃をするために、入口でインターホンを押したので扉を開けに行く途中、床がワックスで濡れていたため滑って転倒した。転倒した時に右腰から落ち、右手を床に強くついたため、右橈骨を骨折した。	60	417	2	50～ 99
2017	5	18～ 19	居室（4人部屋）で、患者様の食事介助をしている時（3人担当しており、同時進行）、1人の患者様にスプーンで口に食べ物を入れ、？んでいる間に次の患者様にと、目の前の患者様の所へ行こうとしたところ、ベッドに置いてある電気アンカの電気コードが右足に引っ掛かり体が浮いた。バンザイの状態でも左足を床に着いたが、着いた場所がゴミ箱に被せてあるスーパーの袋が床にはみ出ている部分で滑ってしまい、前のめりで転び、右膝、左膝、両手の順に床に落ちて強打した。	54	417	2	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	当法人の院内（クリニック）の透析室にて、患者を車イスからベッドに移乗した際、腰部に強い痛みがあった。立っている間は痛みが少ないため業務を続けていたが、座ったときに痛みが酷くなり、腰椎骨折と判明した。	48	911	19	100 ～ 299
			出勤時、就業先敷地内を歩行中、低い鉄板のスロープを通った際に				1000

2017	5	8～9	雨で鉄板が濡れていたため足を滑らせ転倒し、左足首を捻った。	44	417	2	～ 9999
2017	5	14～ 15	当院1C病棟デイルーム内にて巡視中、入院患者のトイレの介助をしていた准看護師から、トイレットペーパーを取りに行ってもらいたいと依頼され、歩行の通行方向を看護師詰所の方に約90度転回しようとしたところ、バランスを崩して転倒し、右膝蓋骨部を床で強打した。	61	921	2	100 ～ 299
2017	5	12～ 13	新規利用者宅へ契約のために伺い、契約終了後、玄関先の石段（3段程）にて足を滑らし、体の右側を下にして転倒した。その際に右手をつき、ほぼ全体重が掛かってしまった。	48	419	1	50～ 99
2017	5	7～8	病室にて、患者様をベッドより車椅子へ移乗補助中、患者様を抱えた際に腰に痛みと違和感が出た。	60	911	19	300 ～ 499
2017	5	9～ 10	入院中の患者様（全介助必要）に対してリハビリを実施する為に訪室した際、起き上がり介助をしたときに右手首を捻った。	34	921	19	500 ～ 999
2017	5	10～ 11	緊急患者の入院手続きを患者と一緒にしている時、患者の状態が急変し、ストレッチャーに乗ってもらう時、患者が急に横たわり、患者の体とストレッチャーの金具が右手に挟まり負傷した。	49	363	7	100 ～ 299
2017	5	8～9	出勤時、ユニフォームに着替えるため、病院敷地内の女子ロッカーのあるプレハブに向かっていったとき、道中の急な坂道を下っていたところ、滑って転倒した。その日は、雨も降っており路面は滑りやすい環境にあった。また、その道は雨の日以外であっても転倒しそうな程の勾配であり、手すり等の安全策もなされておらず非常に危険であった。	26	417	2	1000 ～ 9999
2017	5	8～9	被災者は、中型バイク（250cc）で通勤中、病院の敷地内にある駐車場にバイクを停めて降りた際にスタンドがうまく出ていなかったため、倒れてきたバイクに右下肢が当たり、バイクの重みに耐え切	66	231	6	100 ～

			れず尻もちをついた。バイクを起こそうとした際も臀部・腰・右脇腹に痛みが走り、勤務不能となった。				299
2017	5	11～ 12	病院構内の樹木の剪定作業をしていた際、長く伸びた枝があったので鋸を使って切っていたところ、切っていた溝から誤って刃が飛びはね、左手の親指に当たり受傷した。	61	364	8	10～ 29
2017	5	10～ 11	病室にて、頭側に設置していた携帯用酸素ボンベを取り外し片付けるため病室から出ようとした時、ベッドのコードに足が引っ掛かり転倒した。その際に左膝を床に強く打ちつけ受傷した。	36	391	2	300 ～ 499
2017	5	15～ 16	業務中に床にボールペンを落としてしまい、拾い上げようとした際に手すりですりを強打した。	34	391	3	1000 ～ 9999
2017	5	10～ 11	当院病室において、患者様を車椅子からベッドへ移動させていた際、腰部の筋肉を痛めた。	41	911	19	100 ～ 299
2017	5	2～3	訪問入浴を利用している利用者様宅で、入浴後ベッドに利用者様を移動し服を着衣した後、利用者様のベッド上での位置を整える為、頭側から利用者様の両脇に手を入れて引き上げる際にベッド枠に肋骨を打ちつけた。	51	379	3	100 ～ 299
2017	5	11～ 12	食堂にて患者様の昼食後の口腔ケアの為、それぞれの歯ブラシを置いているラックから洗面台に並べている際に左膝を捻る。	45	417	19	100 ～ 299
2017	5	5～6	病院3階のスタッフステーションでデスクワークをしていて、休憩をとろうと椅子から立ち上がり右足を1歩踏み出した時、右足に力が入らず右足裏が内側を向いた状態で体重がのり、そのまま座り込んだ。その後も右足に体重をかけると痛みがあった。	39	921	19	100 ～ 299
2017	5	19～ 20	ゴミ出しが終わり、手を洗うため洗面台に歩いて行く途中に左足が前に滑り、右膝から床に落ち、右膝を強打した。	61	417	2	300 ～

									499
2017	5	12～ 13	南2病棟食堂で与薬していたところ突然、患者が職員の右頬を殴打した。しばらく様子を見ていたが腫れと痛みが治まらなかった。	41	921	90	～	100	299
2017	5	15～ 16	車椅子に座っている患者（認知症、体動著名）の散髪をする際に、動くのを押さえるため両手で頭を挟んでいたとき、患者が急に動いた時に自分の手指からポキッと異音がした。関節が鳴ったのだろうと様子を見ていたが、徐々に親指の付け根が腫れて始め痛みだした。	52	921	19	～	100	299
2017	5	0～1	病棟内にて、数ヶ月前にスライドボードを利用した入浴介助に伴う患者の運搬と、当月と翌月に入浴介助業務を行い、それ以外は病棟内で看護師一般業務を行っている。当月に入院患者に疥癬の診断があり、病棟内で感染拡大予防策を強化されたが、身体の一部に発赤と掻痒感があり、疥癬と診断される。	45	911	90	～	100	299
2017	5	22～ 23	入眠中から覚醒し、自室より這って廊下に出て来た患者様を他患者の妨げにならないよう病室へ移動させる際、一人で抱えた時に腰痛が発生し、徐々に痛みが増してきた。勤務後に1階通用口を出て更衣室へ向かう坂道を1歩踏み出した時に腰痛があり、坂をのぼっていると腰部に激痛がきて歩行困難となり倒れ込んでしまった。	31	921	19	～	100	299
2017	5	18～ 19	厨房に設置してある冷蔵庫の一番上の棚の品を取ろうと、座面が回転する椅子に乗ったときにバランスを崩し、床に落下した。	67	371	1	～	50	99
2017	5	8～9	出勤のため職員駐車場に到着し、車を降りて更衣室に向かう途中でバランスを崩して転倒し、両手をついた。その後、右手に激しい痛みが生じた。	47	417	2	～	100	299
2017	5	6～7	オムツ交換中、声かけ後にオムツに触れた時に、患者から「何をやる」と急に手を上げられそうになった為、顔をカバーしようとして右手でかばおうとしたとき、右手小指に当たり骨折をした。患者は、認知症であった。	59	911	90	～	100	299

2017	5	8～9	訪問看護に行くため、訪問看護ステーションの入り口を出たときにスロープの段差になっている所で足を挫いて転倒した。転倒の際に体重がかかってしまい、右第5足中足骨に負荷がかかり骨折した。	47	419	2	100 ～ 299
2017	5	18～19	入院患者の食事を配膳終了後、空になった温冷配膳車をエレベーター前まで移動するため、エレベーター前のドアのカギを開けドアを開いた状態にしてドアを通過させようと、力いっぱい引っ張った時、開いていたドアに体が触れてドアが閉まり始めたため、咄嗟に配膳車がドアにぶつからないように配膳車を止めようとした時、配膳車の引手のレバーの下に左手が入り、動いている配膳車と止めようとする左腕の間に引手レバーがあり、腕が反った状態で骨折した。	59	611	19	100 ～ 299
2017	5	11～12	職員食堂内にて、他職員が職員食を職員食堂内の冷蔵庫近くでこぼした為、他職員と共に清掃している最中に、もう1人の他職員が冷蔵庫の扉を開けていることに気付かず、立ち上がった際に冷蔵庫の扉にて背中を強打した。	41	391	3	100 ～ 299
2017	5	18～19	病室で、食後患者様を車椅子からベッドへ移動する際に腰を痛める。	34	921	19	300 ～ 499
2017	5	7～8	地下にあるロッカーで着替えて勤務場所（5階）に向かう途中、階段に左足を強打した。	19	413	3	500 ～ 999
2017	6	15～16	入浴棟で入浴介助が終わって片付けている際、床が濡れているので注意して歩いていたが、浴室と脱衣所間のステンレスの所で滑って転倒した。その際、左半身を下にして倒れて左肘を床に打って捻った。	35	416	2	1000 ～ 9999
			病室にて患者のオムツ交換中、体交まくらを背中に入れる時、右小				100

2017	6	16～ 17	指第1関節を曲げたまま体重をかけ、体交まくらを入れてしまった。その結果、指が曲がったまま戻らない状態になってしまった。	39	921	19	～ 299
2017	6	15～ 16	当日はデイケア職員として施設利用者を載せたマイクロバスに補助者として乗務していた。利用者を降ろし、事業所に戻る途中、路外に駐車していた相手車両が無人の状態バックで動き出し、走行中の当方車両に衝突したものである。衝突した際、衝突箇所の近くの座席にいたこともあり、衝撃で首・腰・背中を負傷した。	50	231	17	50～ 99
2017	6	18～ 19	厨房内で、お膳を洗浄室に運んで来た際に転倒した。自力で起き上がれず、骨折した。床のタイルが濡れていて、滑り易くなっていたことが一因と思われる。	65	417	2	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	当院コミュニティーセンターの東側ガレージ前にて、園芸作業療法活動中、配合土をポットに入れてバットを取りに行く途中、通路の段差に気付かず、誤って右足を捻ってしまう。その後、痛みはあったものの作業を続行していたが、バットを整頓しようとした時に再度躓いてしまい、右足を負傷した。	62	417	19	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	研修先の施設内で、折りたたみテーブルを折りたたんだ状態で移動させる際、テーブルが倒れて、左足先を強打した。	38	391	6	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	ナースステーションにおいて記録入力中に、ナースコールが鳴ったので患者様の所に向かう途中、床の上に置かれたプラスチック製の薬を入れている箱（縦36cm、横53cm、高さ33cm）に右足が躓き、右膝から床に打ちつけ、ほぼ同時に左膝と両手を床に打ちつけた。右足に痛みがあり、休憩に入った際に歩けなくなり、立てなくなった。その後右足をかばっていたため、左足も痛くなった。	55	611	2	100 ～ 299
2017	6	8～9	自閉症で入院されている患者さんが、看護師が朝食後の薬を配布中に、突然暴力的になり、看護師の首を殴ってきた。当日は痛みもなく帰宅したが、後日、首が痛くて動かせなくなった。	36	921	99	100 ～ 299

2017	6	10～ 11	不潔リネン庫にて作業中、リネン庫扉が外れて右足に落下した。	20	521	4	500 ～ 999
2017	6	10～ 11	朝のケアが一段落し、オムツ車置き場で片付けをしている時、ナー スコールが鳴り、対応しに行く際、振り向いて歩き出した瞬間、左 足からグキッと音がし、時間が経つにつれて痛み出してきたもの の、我慢出来る痛さであったため、様子を見ていた。その後、痛 さが治まらず受診に至った。	45	921	19	300 ～ 499
2017	6	17～ 18	訪問看護を終了し、利用者宅玄関を出て階段を下りようとした時に 足を踏みはずし、前のめりに手、膝をつき、左足関節（内転）を捻 り、公用車に同乗して帰所した。鈍い痛みはあるものの歩行出来 たため、クーリングにて経過を見るも、夜間に腫脹・熱感・傷みが 持続した。	54	413	1	300 ～ 499
2017	6	7～8	通勤時、勤務先敷地内で、雨を除けて厨房前の通路を更衣室に向け て移動中、足場のぬかるみで滑って転倒し、左前腕部を受傷した。 当日は、通常通り業務に従事し帰宅した。翌日、腫眼と痛みが続 き、骨折の診断を受けた。	56	417	2	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	診療科にて、担当より検査オーダーの問い合わせがあり、確認のため 診察室へ行ったところ、医療機器の電源コードに躓き転倒しそう になり、体勢を戻そうと踏ん張ったところ、右足先に痛みを感じ、 骨折してしまった。	61	417	2	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	病棟廊下のエレベーター前で、患者様をベッド移送している時に、 エレベーター前で一旦止まり、エレベーターに乗ろうとベッドを動 かした際に勢いがつき過ぎて、ベッドのキャスターに左足の指が轢 かれてしまった。	48	362	7	300 ～ 499
2017	6	10～ 11	2階病棟にて、看護師2名と一緒に車椅子の患者様の移動のために介 助を行っていた。右足を車椅子にのせて患者様を抱え、移動させ ようとした際に、つま先立ちした状態の左足に患者様の体重がかか	43	911	19	300 ～

			り、左足下腿の断裂に至った。				499
2017	6	19~ 20	病棟の看護室で申し送り中に、患者家族から声がかかり、後程対応すると返答した。その態度が悪いと、1時間以上廊下（病室前）で怒号があり、謝罪しても許しを得られず、大声で怒鳴るなど言葉の暴力があり、強い精神的ダメージを受け、心身疲労状態で休養している。	29	719	90	~ 9999
2017	6	7~8	当病院の東側階段を3階から2階に下りている途中、踊り場から1段目で右足が左足に引っ掛かり落下した。	54	413	1	~ 499
2017	6	11~ 12	病室にて、排便によりオムツ交換が必要な患者さんに対して1人でオムツ交換を実施しようとした際に、便が軟便で多量のため患者さんの身体を手前に引き、右手でオムツを引っ張る動作を行ったところ、急に腰に痛みが発生した。	58	911	19	~ 299
2017	6	10~ 11	病院2階A病棟にて、看護師1名と一緒に、患者の体位変換のため、患者をベッドの右側に寄せようと、ベッドサイドの左側に立ち、患者の体の下に両手を入れ、向こう側へ移動させる動作をした際に、左上腕より「ピキッ」という音がして、動かすことが出来なくなった。	38	911	19	~ 299
2017	6	10~ 11	病棟にて、お風呂から帰ってきた患者さんの着替えをしている時に腰部が痛くなってきて、歩こうとしたら歩けなくなっていた。	42	911	19	~ 499
2017	6	17~ 18	事業所内の廊下を歩行中、8cm程の段差を踏み外して転倒した。その際、左足の脛と踝を負傷し、左腓骨外果骨折と診断された。	60	416	2	~ 299
2017	6	11~ 12	病室で患者を風呂場へ移送するため、ベッドからストレッチャーへ持ち上げ移動した時、腰に負担がかかってしまった。	43	921	19	~ 499

2017	6	9~ 10	OT室前ホールを歩行中、床に水たまりがあることに気付かず、スリッパを履き転倒してしまった。背部から倒れたため、左背部、左後頭部を近くにあったソファ、及び床に打ち付けてしまった。被災直後に頭痛・吐き気があり、背部痛も持続しており、頸部・背部・頭部挫傷となった。	65	417	2	100 ~ 299
2017	6	12~ 13	病院の3階病棟の食堂にて、患者さんの食事の配膳をしていた時、患者さんが使用していた歩行器があるのに気づかず、左足を歩行器の後ろタイヤに引っ掛けてしまい転倒した。（歩行器が配膳の動線上にあった。）	62	417	2	300 ~ 499
2017	6	8~9	朝、雨が降っていたので長靴を履いて出勤した。傘を畳んで、職員入口に向かい階段を下りていた時、長靴が滑り、階段下5、6段上より滑り落ちた。その際、お尻より強く落ちた為、尾てい骨辺りに強い痛みを感じた。	43	413	1	100 ~ 299
2017	6	14~ 15	3病棟ホールにて、興奮状態の男性患者が歩行器で突進してきたため、両手で歩行器を止めたところ、左顔面を殴打され、おそらく数秒程意識を失った。左顔面は腫れたが、クーリングにて当日中には改善するも、翌日、殴打されたのとは反対の右側の頭痛、右上半身痛が起こり、痛み止めを内服し様子を見ていたが改善せず、骨折と判明した。	42	719	6	100 ~ 299
2017	6	9~ 10	信号のある交差点で、患者を迎えに行く途中、青信号を確認して、交差点に直進進入したところ、右方向より赤信号で交差点に進入して来た相手車と衝突し受傷した。	73	231	17	300 ~ 499
2017	6	8~9	高さ60cm程の机の会計窓口で、中腰の状態でもパソコン入力業務を行っていた時、腰を痛めた。	43	379	19	500 ~ 999
2017	6	15~ 16	8階庫内で、リネンを棚の上に載せようと脚立に乗って作業をしていたところ、脚立が揺れてバランスを崩し、脚立の一番上から床に落ち、その時に左手をついた。	59	371	1	500 ~ 999

2017	6	10～ 11	患者退院のため移送しようと、ベットからストレッチャーに移しかえている時、体を捻った状態で、片足に体重がかかり、ボキッと音がして左膝に痛みが出た。	67	921	19	100 ～ 299
2017	6	8～9	5F病棟にて、オムツ交換のため1人で病室に入る。患者の右側に立ち、柵を外さずにオムツ交換をした後、体位変換で体位を手前に引き寄せたところ、ベット柵が左胸部（左肋骨）に当たり（バキッと いう骨折音あり）左肋骨骨折した。	52	379	3	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	1Fリハビリテーション室にて、体格の大きい患者を車椅子から治療台へ移乗しようとした際、患者が介助者（被災者）を引っ張りながら立ち上がろうとした為、介助者の腰に過剰に負担がかかり負傷した。	31	911	19	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	男子開放病棟2階トイレを掃除中、モップ絞り器に水を入れようとして、腰を屈めた時に激痛がはしった。	61	921	19	100 ～ 299
2017	6	2～3	病院内の薬剤部で、点滴を取りに行き、点滴の柵の前で床にあるすのこに左足が引っ掛かり、左膝より転倒した。その際、左膝の腫張・発赤・痛みが出現した。	43	417	2	300 ～ 499
2017	6	8～9	病棟の廊下で下膳中にナースコールが鳴り、訪室しようとしたところ、廊下の床に左足が突っ掛かり、足首からブチッと音が鳴り、歩行することが出来なくなった。	47	417	19	500 ～ 999
2017	6	12～ 13	午前中の仕事を終え、事務所へ帰る途中の交差点で横断の際、路面が濡れていたため、ブレーキを掛けた時にタイヤがスリップし転倒した。	53	362	17	10～ 29
2017	6	8～9	病院ロッカーで更衣中、後ろを通る人がいたため避けたところ、腰に痛みが発生し動けなくなった。	43	921	19	100 ～ 299
		11～	本院事務所へ書類の提出後、介護事務所へ自転車にて戻る途中、用				300

2017	6	12	水路脇のブロックに自転車の後輪が引っ掛かり、バランスを崩して用水路に転倒し、顔面を強打して負傷するに至った。	61	362	2	～ 499
2017	6	14～ 15	医薬品が入ったカートスタッフステーションへ入れようとした際にカートが転倒し、そのはずみで自らも転倒し、手をついた際に負傷した。	57	417	2	500 ～ 999
2017	6	15～ 16	当院病棟内浴場にて入浴介助時、患者を抱えた時に腰部に痛みを感じた。その後も痛みを耐えて勤務していたが、我慢できなくなり受診したところ、骨折が判明した。	63	911	19	300 ～ 499
2017	6	17～ 18	当院5病棟ホール扉前で配膳車を搬送中、鍵を開けようとした時に床で足をとられ、左脚後下腿部を捻挫し痛めた。痛みが強く足が上がりなかった。左腓腹筋断裂と診断を受けた。	54	417	19	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	厨房内で仕込み中にネギを切っていた際、誤って左親指の第一から第二関節にかけて包丁で切ってしまった。	56	364	8	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	入浴介助中、浴槽より患者を1人で抱え上げようとした時、腰がグキツとなり痛みが出現した。	54	921	19	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	シーツ交換を行っている時、側にあったソファに足が引っ掛かり、後方に転倒し、頭部と腰部を打撲した。	60	417	2	500 ～ 999
2017	6	11～ 12	病棟内の風呂場脱衣所で、患者をシャワー椅子から車椅子へ移乗させる時、患者の体を前から腰を抱えて持ち上げようとしたがバランスを崩し、踏ん張った時に胸から腰にかけて痛みがはしった。筋肉痛と思いしばらく様子を見ていたが、痛みがひかず、骨折と診断された。	52	921	19	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	病室にてオムツ交換時に、腰に違和感を感じたがそのまま作業を続け、物品洗浄中に腰に激痛がはしり、同時に左足の痺れも感じた。	48	921	19	100 ～

2017	6	10~ 11	車椅子の利用者の入浴後、車椅子を入れ替えのため2名で対応中、正面より支えて立ち上げようとしていた時、利用者と共にバランスを崩し、浴室内で転倒した。	54	911	2	~ 499	300
2017	6	16~ 17	総合リハビリ室内で、患者様をリハビリ中に発生した。ベッドに座っていた患者様の正面から、両腕を脇の下に入れてお尻の下部を支えて、引き上げた際に腰に激痛が起こり、その後、脱力感が発生した。	24	911	19	~ 499	300
2017	6	9~ 10	病棟から1階事務所へ書類を取りに行く際、少し下り坂の廊下に下膳した食器から水がこぼれていたのに気付かず、足を滑らせ転倒した。その際に尻もちをつきながら、右手のひらを床についた。その時は痛みはあるが湿布で治ると思い、夜勤明けだったため帰宅し、湿布を貼って処置した。次の日、右肘が曲がらず強い痛みがあり、あざができていた。	37	417	2	~ 299	100
2017	6	8~9	院内診察室において、入口のカーテンを洗濯したカーテンに取り替え作業中、手が届かなかったため椅子に乗り、カーテンレールにカーテンの金具をかけようとした際にバランスを崩し、椅子から転倒して右手を負傷した。	60	371	1	1~9	
2017	6	17~ 18	4、5日前より腰痛があった。当日は夜勤に入り、夕食準備のため患者様のベッドアップ業務の際、130kg程ある患者様の体を上げる時に腰に違和感を感じたが、そのまま業務を続けていたところ、配膳中に歩くのも我慢出来なくなる程の痛みになり、そのまま動けなくなった。	56	911	19	~ 999	500
2017	7	10~11	浴室内で車椅子の患者様を椅子に移動する時、患者様の正面に立ち両脇に手を入れ立ち上がらせ、右側の椅子に移動しようと体を右に向けた瞬間、腰に痛みが走ったが、患者様を椅子に座らせた。その後、その場で痛みが酷くなり歩く事が困難になった。	47	921	19	~ 299	100
2017	7	17~18	北棟5階5B病棟廊下において、配膳車からお膳を出そうとした時に、配膳車が勝手に動いてしまい、右腕全体を壁と配膳車の間に挟	45	362	7	~	500

			み、右手親指と手首から上の右腕全体を負傷。				999
2017	7	12~13	幅約4m~5m、水深約30cmの川沿いで、樹高約4m・根元径（切口）8cm~10cmの雑木（柳）を伐採したところ、木が根元からしなっており、伐った拍子にチェーンソーのバーに木が乗り木の重さとしなっている反動で、根元付近についていた左足に向かってチェーンソーが押し戻され、チェーンが回っている状態で左足の甲から足首付近に接触してしまった。	43	364	8	100 ~ 299
2017	7	12~13	1階診察室入口のドア上部をイスに乗り清掃中、イスから落ち転倒したその際に、ドア部分に手をぶつけ床に強く手をついた。	59	391	1	100 ~ 299
2017	7	13~14	室内に於いて、同僚とベッドシート交換作業終了のため、当該ベッド両側ベッド柵を挿入するため、両手で当該柵を持ち上げた時バランスを崩し転倒、当該柵の上に身体が倒れたために当該柵と床面に抜けなかった左手を挟み負傷した。	63	379	2	300 ~ 499
2017	7	17~18	当院内にて、暴れる患者を拘束・移送の際、右膝を蹴られ受傷した。移送の時に腰痛、右大腿後面のしびれ、右手首に痛みを生じ、様子を見ていたが症状が改善しなかった。	54	921	90	50~ 99
2017	7	13~14	小学校で門柱解体の作業をしているときに、切断機（エンジンカッター）で、コンクリートの門柱を切断する際に、門柱内に鉄筋があることを想定し作業を進めていたが、集中力・注意が足りなく切断機の刃が鉄筋に当たり、切断機が跳ね返り切断機の刃により顔左側を切ってしまった。	57	417	2	100 ~ 299
2017	7	11~12	入院患者の入浴終了後、病室に戻りストレッチャーからベッドに患者を移すために持ち上げたところ、両手親指に痛みが走り負傷した。治療を受けていたが、この度、手術により休業となった。	50	921	19	100 ~ 299
2017	7	13~14	病棟内にて、リネン交換作業のため布団を持って運んでいたが、足元が滑り、布団をかかえたまま、前方に転倒、右手首と指を骨折、捻挫した。	55	417	2	300 ~ 499

2017	7	14~15	病院病棟において、病棟清掃作業中、病室内清掃後、廊下にモップをかけようと両手にモップを持って歩いていたところ、廊下に掃除機が出ていることは視認していたがコードには気付かず、コードに足をひっかけ転倒した際、床面に左頬、左上肢を打ち負傷した。	69	416	2	100 ~ 299
2017	7	7~8	バイクで転倒しているスタッフがいたので助けようとバイクで起こそうとしたところ急な坂のためバックしてきてささえきれず尻餅をついた。（病院の敷地内において）	62	231	2	100 ~ 299
2017	7	9~10	派遣先施設内2Fフロアの入居者の室内にて、介護リーダーと2人で入居者を車椅子からベッドへ移乗させる際、前から抱えて持ち上げた時に入居者が急に仰け反るように動いたため、転倒させないように踏ん張ったところ背中部分に激しい痛みを感じ立ち上がれなくなる。その場で歩けなくなったため、車椅子に乗せられ休憩室に運ばれた。戻って就業を続けようとするも動く度に激痛が走るため、その日は早退。背部挫傷により約2週間の加療と診断される。	47	911	4	50~ 99
2017	7	17~18	当社製品置場において、トラックの荷台にコンクリート製の蓋を積み込んでいたところ、腰の右側に痛みを感じたがそのまま作業を継続し勤務終了後、痛みが治まらなかった。	26	417	2	100 ~ 299
2017	7	10~11	納品作業をしているときに、入り口フェンスの鍵を開けようとしたが、暗くて見えないため、鍵を開けることが出来なかったため、腰高のフェンスを飛び越え敷地内の進入しようとしたが、着地に失敗し左足首負傷した。	52	362	3	300 ~ 499
2017	7	11~12	4F機械室より廊下に出る際、少々床が水濡れしていた。長靴で一步踏み出した時、床で滑り転倒。左側面の左目上部、左手首付近、左腰部を床に強打。各部痛みがあったが、中でも左手首に激痛が走った。	68	419	2	100 ~ 299
2017	7	8~9	4階東病棟602号室にてエアコンのフィルターを清掃中に脚立より落下。落下時に頭部をかばったため腰を強打した。当院にて点	67	371	1	300 ~

			滴、「第3腰椎圧迫骨折、第11胸椎圧迫骨折」との診断を受け入院加療となった。				499
2017	7	16~17	健診センター受付で、ビル管理会社による床清掃作業準備のため、床の上の椅子や備品等を片付ける際、前屈作業が多く腰痛発生。もともと腰椎椎間板症があり。当日は夕方だったのでそのまま帰宅したものの、翌朝腰が伸ばせず、それでも無理して出勤したところ、上司から休むように言われた。	39	911	19	50~ 99
2017	7	12~13	病棟にて各病室のラウンド業務中、東棟221号室入口前の廊下にてUターンしようとして振り返った際、右足が床につまずき転倒、その際左胸部、左右膝及び左手首を床に強く打ち打撲する。	64	417	2	300 ~ 499
2017	7	6~7	早番勤務で出勤後厨房内で朝食用のインゲンを大釜で炒めるためにインゲンを並べたスチームコンベクション用のトレイ（4枚重ね）を持ち上げたところ少し腰に痛みを感じた。その後インゲンを炒めている最中に痛みが酷くなり業務を中断して休憩室で様子を見ていたが酷い痛みが持続したため勤務を中断した。	61	611	19	100 ~ 299
2017	7	15~16	病院地下リネン庫にて、2F放射線科分の病衣補充のため庫内に入り、棚へ向かう際、カゴ（非固定）に立てかけてあった2つ折簡易ベッドが背後から倒れて来て左足踵を直撃した。	64	379	5	50~ 99
2017	7	11~12	調理場で、合成調理機で人参を千切りにする時に、人参を持ったまま機械に投入してしまい、回転する刃部に右示指が当たってしまった。	41	165	8	100 ~ 299
2017	7	18~19	病院内1階厨房の配膳車プールから脇の自動扉廊下において40人分の夕食を入れた配膳車（1,880×780×1,770cm製品質量313kg）を廊下に移動作業中後ろ向きで引っ張ったところ、動かなかったの で、再度力を入れて、約1m進んだ時、左足膝裏に強い衝撃と痛みを感じ、左足半月板を損傷した。	61	921	19	500 ~ 999
			救急外来初療室の入口近くの観音扉が患者をストレッチャーで搬送中、突然、閉まってきたため、ストレッチャーにぶつからないよう				500

2017	7	15~16	にとっさにストレッチャーと扉の間に入り、扉の取手が、後頭部下から背部に当たり受傷。受傷後、約1~2時間後、打撲痛以外後頸~右肩にかけてのビリビリした痛みが徐々に強く増悪していった。	49	419	3	~ 999
2017	7	14~15	当院内2FOP室にて眼科手術終了後片づけをしている際に手術台下にコントローラーのコードが入り込んでしまったため、コードを取り出そうと思い手術台を持ち上げようとした際に想像以上に重く腰部からギクッと音がし、その直後痛みと共に動けなくなりました。（手術台イスの状態、かどを少しだけ持ち上げようとした。）	52	391	19	100 ~ 299
2017	7	18~19	病院玄関フロアと地下1階フロアをつなぐ階段を残務処理のため地下1階事務所にむかっている途中階段の踊り場でつまずき5段下の地下フロアに顔面から転落した。	44	413	1	1000 ~ 9999
2017	7	14~15	病室にて患者様の痰を吸引していた。気管内より痰を取るために肩枕を入れようと左側より左手を背中に差し込み体を持ち上げようと力を入れた時、右腰にビリッと痛みが走った。腰の痛みが続き毎日湿布を貼用し痛み止めを飲み仕事を続けていたが徐々に背中に張り痛みが広がり足のしびれが出現した。	61	921	19	300 ~ 499
2017	7	16~17	交差点に向かって、渉外営業後、帰局しようとバイクで走行中、急な大雨に遭い、視界もあまりよくないところ、直進から右折レーンに入る車に気をとられたこともあり、ハンドル操作を誤り、濡れた路面の線上で、スリップして、転倒した。内務業務をしていたが、通院加療の経過が思わしくなく、3週間の休業加療との診断を受けた。	63	417	2	500 ~ 999
2017	7	13~14	病院内の厨房に於いて、調理師がグリストラップを清掃するため鉄製の三枚蓋の内一枚だけを開けてゴミ受けザルを洗浄中、本人が誤って右足を踏みはずし、右太ももを蓋の角で強打した。	50	521	9	10~ 29
			精神科急性期治療病棟において、患者が不穏行動をとったため、保護室に誘導しようとしたが、スタッフの手に噛みつこうとするなど				

2017	7	19~20	の抵抗があった。そこで5名体制で対応したが、それでもスタッフの手を振りほどいて男性スタッフの右眉部に噛みついた。その際、患者が手を振り上げたため、避けようとしてバランスを崩し、転倒して床で腰部と後頭部を打撲した。	53	999	2	100 ~ 299
2017	7	20~21	病棟のパントリー内で、入院患者に、薬を配っていた時、突然1人の入院患者がパントリー内に入り、何も言わずに私の頸部に腕を巻きつけ、シャーペンで、私の顔面を殴り、左上腕も咬まれ、流血し受傷。	43	911	90	1000 ~ 9999
2017	7	11~12	洗濯物を取りに空のカートを押し職員出入口を出ようと扉をあけた時指が扉の隙間に巻き込まれ、手を引いた時に右指第2指を負傷した。	57	418	7	1~9
2017	7	11~12	入院患者様の入浴準備中、患者様を車椅子に乗せる時にバランスを崩し転倒する。転倒の際、患者様の下敷きになり、左大腿骨を骨折する。	59	911	2	300 ~ 499
2017	7	10~11	顧客邸剪定中に、高い木を切るために、石垣に登り剪定をしていた所、不意に、スズメバチが、ワァーと出てきた。とっさにはさみはほりなげ、逃げるために、飛び降りた所、左足踵を強打した。	61	413	1	100 ~ 299
2017	7	14~15	4F浴室内で入浴介助業務を終え、更衣室で後片付けをしていた。補充のため中身が半分以上入ったシャンプーボトルを目線より少し上の棚に手を伸ばしボトル上部（ポンプ部分）を持ち取ろうとしたところ、ふたが完全に閉まっていなかったのかポンプからボトル下部（本体部分）が外れ棚から落下、シャンプー液が飛び出し、左目に入った。すぐに水道水で洗浄したが、目が開けられない状態だった。	64	519	12	100 ~ 299
2017	7	9~10	厨房内の洗浄室において、トレイの洗浄中、洗い用のシンクからすすぎ用のシンクへトレイを移そうとしたところ、15枚程重ねていた別のトレイに当たり、バランスを崩し足の甲に落下し、受傷した。	72	379	4	300 ~ 499

2017	7	17~18	退勤時間となり、担当病棟から事務所へ向かう途中の下り坂で、左足が滑り右足と交差した状態（左足が前）で前方に2回位転んだ。その際、左膝を痛めた。	69	419	2	~ 299	100
2017	7	11~12	病棟内で患者のトイレ介助中、腰に痛みを感じた。その後、様子をみながら業務をした。翌日、病棟内でおやつ前の体操の時、再度、腰に強い痛みと足に痺れを感じ普段の様に動けなくなった。	53	921	19	~ 299	100
2017	7	13~14	下処理室で翌日に使うかぼちゃを切っている時、包丁で指を切った。	52	364	8	~ 299	100
2017	7	9~10	市道の病院正面玄関への入口近辺で外来患者が車両を正面玄関の空スペースへ移動させたいと思い当病院受付へ相談し当該職員がその連絡を受けた。その外来患者は従来より右下肢に障害があることから車両に左足でアクセル操作できるように改造していた。当該職員は、外来患者の意向が代行運転してもらいたいものと確認せずに勝手に思い込んでしまった。そのため当該職員は、改造車両とは知らずに代行運転してしまい、結果運転操作を誤ってしまった。後進の状態でアクセルを踏みこみ、市道海側の防波堤のところでスピンし激突、運転者である当該職員が被災した。	64	231	17	~ 499	300
2017	7	15~16	おむつ交換を病棟で行っている時に、患者さんを抱える際に足を踏んばったところ、左第4趾あたりがグジュという感触があった。捻挫と思って、湿布にて様子を見ていたが、痛みが増してきて、左第4趾骨折と判明した。	55	611	19	50~ 99	
2017	7	23~24	夜勤業務中に病室内にて患者さんの体位交換を行った際、急に腰に痛みを感じ、第4腰椎圧迫骨折と診断される。	68	911	19	~ 299	100
			看護師と2人で入院患者をベッドから車いすへ移乗させる時に患者のお尻が車いす左側の肘掛けに当たり、患者を持ち上げた時に腰に痛みを感じた。準夜時は人が少ないため我慢して仕事を続けた。					100

2017	7	17~18	そのまま帰宅し、翌日は休みだったが痛みを感じながら自宅で様子を見ていた。その翌日朝起き上がる時、腰に激痛が走りなかなか起き上がれなかった。	61	911	19	~ 299
2017	7	17~18	当院厨房の配膳車の出入り口にて厨房から配膳車が出てきてエレベーターへ移動する際に進行方向を前か後ろかを迷い、配膳車に勢いがあったため壁と配膳車とに左肘から左手首にかけて挟まれて痛みがあった。左橈骨遠位端骨折と診断を受けた。	47	362	7	100 ~ 299
2017	7	15~16	1病棟観察室にて患者様をベッドから抱きかかえ車いすへ移乗する際に、床が患者様のよだれが落ちて濡れているのを知らず足を滑らせ足趾の第3、4趾が黒ずみ足の痛みが酷く、右第3、4趾中節骨骨折と診断された。	34	417	2	100 ~ 299
2017	7	15~16	訪問介護先の個人宅にバイクで向かう途中、見晴らしの良い交差点を直進しようとして一旦一時停止をした後に前進したところ、左側から直進してきた車と接触し、乗っていたバイクごと転倒し、全身を道路に強く打ちつけて負傷した。	64	231	17	100 ~ 299
2017	7	16~17	利用者さんを自宅まで送り、利用者さん宅前で、病院へ戻るため車に乗ろうと左足を上げ、体をひねった際に右足の半月板に痛みを感じた。	68	921	19	~ 299
2017	7	7~8	入院患者病室で、全介助状態の患者のオムツを交換する時に、中腰の姿勢で患者の体の向きを変えたところ、腰部に負荷がかかり受傷した。	47	921	19	300 ~ 499
2017	7	13~14	病室で女性48kgをリクライニング車椅子からベッドへ移乗する作業中、2人で中腰になって抱えていて、背中から足の先まで電気が走った。私は上半身を抱え、同僚が下半身を抱えていた。	29	719	19	300 ~ 499
2017	7	3~4	病室のトイレで患者さんのトイレ移乗の際、患者さんの病状により、腰が曲がって身体に力が入らないのを、無理な姿勢で支えようとした際に、腰に痛みを感じた。3人で移乗したいが、ご家族から	63	921	19	300 ~

			の要望で、病室のトイレを指定されるため、（3名は入れないため）2名で行い、身体を支える場所の指定などがあり、起きてしまった事故。				499
2017	7	10~11	病棟の隔離室にて、床の布団から患者さんを二人で介助し、車椅子に移乗する際、下半身を持ち上げたところ、腰に激痛がはしり、歩行するのが困難になる。今まで腰痛になった事はない。	28	921	19	100 ~ 299
2017	7	10~11	ホール東側より廊下へ移動するため左折しようとした際、床に清掃後の水濡れがあったため、滑ってバランスを崩し転倒した。左側に上体が崩れたため、左手を床につき、上体を支えようとした。その際、左顔面も打撲した。	55	417	2	100 ~ 299
2017	7	10~11	病室にてリハビリ訓練のため患者を車イスに移乗しようとした時、腰でゴリと音がして激痛が走り、全く動けなくなった。	55	921	19	100 ~ 299
2017	7	10~11	軽トラックから物置を降ろそうとして荷台から飛び降りた時にバランスを崩し、左手を地面についた際に負傷した。	41	221	19	30~ 49
2017	7	9~10	病棟隔離室内で看護師2名とオムツ交換中に突然抵抗され、膝で胸部を蹴られた。普段より暴力行為があり、処置や看護行為施行時は職員複数名で対処していた。	33	911	90	100 ~ 299
2017	7	9~10	事業所病院内において、オムツカートと同僚1名と共に押して歩いていたところ、誤って、カートに足を引っかけて転倒した。転倒する際、右足を捻り、右大腿部を負傷した。	58	379	2	100 ~ 299
2017	7	16~17	病院のSK室（汚物を処理する部屋）前でオムツを補充しようと急いで向かったところ、SK室左横のトイレの前で右足の第5趾が下になる形でねじり、骨折した。	21	921	19	100 ~ 299
2017	7	15~16	病棟内の浴室で、機械浴の入浴介助を2人で行っていた。左麻痺のある患者（体重51kg）を車椅子から機械浴の台に移乗している時、主介助者の力が足りず、臀部が下がり気味になった。そのた	43	921	19	500 ~

			め、患者の後ろから抱え上げようとしたところ、腰部に強い痛みが発生した。				999
2017	7	9~10	病室にて入院患者様の便汚染の後の寝衣交換を2人で施行した。その後、患者様の身体を2人で上方に引き上げようと下肢に力を入れた際、ブチッとするような感覚があり、左下腿部に激痛が起きた。しばらく業務を続けたが疼痛は軽減しなかった。	44	921	19	100 ~ 299
2017	7	10~11	入浴補助で着脱の介助時に腰を痛めた。	33	911	19	10~ 29
2017	7	8~9	厨房内にて昼食の準備で小松菜を切っている際に、誤って刃渡り15cmぐらいの包丁で左人差し指の第2関節と付け根の間を腱まで深く切った。出血が酷かったが、止血をし手袋をつけて作業を続けた。	24	364	8	100 ~ 299
2017	7	7~8	職員通用口横の階段を使用し、患者の朝食（配膳車）を取りに1階へ下りる際、最後の3段を踏み外し、転倒した。	27	413	1	100 ~ 299
2017	7	17~18	病院内の厨房で配膳作業の前に台車の角にぶつかり転倒。その際、両手をついたため左腕に痛みと腫れが出た。	59	416	2	100 ~ 299
2017	7	16~17	病棟内にあるデイルームで入院患者に、突然右目を殴られ胸を蹴られた。	34	911	90	100 ~ 299
2017	7	3~4	3F病棟で夜勤業務に就いている時、302号室で介護職員が誤って水をこぼしているのを見廻りに行った時、そこで足をとられ膝をひねり尻餅をついて負傷した。	60	417	2	100 ~ 299
2017	7	10~	介護職員1名が車椅子患者3名を2階までエレベーターで搬送していた。エレベーターが2階フロアに到着したので、扉開延長ボタンを押して、2人の患者を降ろしていた。車椅子患者1名がエレベ-	70	416	2	300 ~

2017	7	12～ 13	厨房で清掃のため布巾を洗いに行く途中、清掃のため排水口の蓋が開いているのに気付かず転落した。	66	418	2	500 ～ 999
2017	7	10～ 11	薬局において、朝始業後間もなく、各病棟に配布する薬剤を搬送カートに積み込む作業中、薬液の入った重さ約4kgの箱を持ち上げ、高さ約130cmの最上段に背伸びをして積み上げた時、背部に違和感と疼痛を感じた。その作業から約1時間後、薬局内のクリーンベンチ室において、翌日の全患者分の輸液等を搭載したワゴン（荷重約30kg）を移動し、患者毎に分別しながら別の3段棚付きワゴン（高さ上段80cm、中段50cm、下段10cm位）に積み替え作業をした。そのとき、中腰での不自然な体勢の作業のため、前の作業時に痛めた背部に異常な負荷がかかり、痛みで起立困難となり呼吸苦も感じた。	44	611	19	300 ～ 499
2017	7	9～ 10	介護施設での介護業務に従事中、入居女性（155～160cm、40kg程度）の入浴介助を終えて居室に運び、同僚の介護職員と共にストレッチャーからベッドにトランスファーする際に発生した。ストレッチャーをベッドの脇に並べるように配置し、同僚が足側を、被災者が頭側を担当することになり、入居女性の脇の下に手を入れて身体を持ち上げた。そのまま被災者は足を動かさずに踏ん張った状態で、ストレッチャーからベッドに向けて入居女性をスライドさせようとしたところ、腰を捻ったことにより腰痛を発症した。トランスファーを行うためのストレッチャーとベッドの配置（位置関係）、及びトランスファー自体のやり方については普段と変わらず、被災者はこれまで腰痛の症状が無かったことから、自身の身体を捻ったことによる腰への急激な負担が、原因であるものと思料される。	38	911	19	500 ～ 999
2017	7	7～8	5F病棟病室前の平らな廊下を歩行中、床に躓き、足がもつれた際、開いていたドアの端に頭部をぶつけた。その際、体をかばい床に	58	417	2	100 ～

2017	7	12~ 13	分娩室で、分娩のため産婦を分娩台に乗せ、分娩体位をとっている際、産婦の左側に立ち、分娩間接介助のため、外回り援助の作業中、陣痛発作が発来した。突然、産婦に左手首を強く握られ、思い切り外側へ捻じられた。そのまま発作が治まるまで放してもらえなかった。	58	921	90	50~ 99
2017	7	7~8	病院勤務において、入院患者を車椅子に移乗介助中、患者を抱きかかえて向きを変えようとしたときにバランスを崩し、右下肢を負傷した	64	921	19	50~ 99
2017	7	12~ 13	休憩後、仕事に戻ろうと1階食堂から2階病棟へ急いで階段を上がり、上ってすぐの廊下に置いてあるポールに左足を引っ掛け転倒した。	66	419	2	300 ~ 499
2017	7	15~ 16	本人が当日の勤務を終え、着替えをしたあと、就業場所を離れ、2階から1階へ階段を降りるときに、階段を踏み外して転落した。	60	413	1	1000 ~ 9999
2017	7	16~ 17	通所リハビリの職員である本人が、通所リハビリの送迎時に、利用者宅の駐車場で、本人が運転席から降りるとき、両足を着いて立とうとした際に右足が滑り、咄嗟に右手を着いて転倒した。その場所は床がすり減っていて、砂利で滑りやすくなっていたため、その砂利で滑って、右手を着いて転倒を防ごうとして負傷した。	41	231	2	10~ 29
2017	7	12~ 13	病院厨房内で、物を定位置に戻そうとしたときに厨房扉が閉まり、その際に扉に左手を置きながら作業をしていたため、左手小指が挟まれた。	64	419	7	100 ~ 299
2017	7	15~ 16	精神科病棟のデイルームで、入院患者が不穏になり、それを止めようとして走ったところ、床にジュースが撒かれていた。濡れていたことに気付かず、滑って転倒し、腰部を強く打ちつけた。	30	417	2	300 ~ 499
2017	7	15~ 16	職場のレントゲン室にて、ストレッチャーで運ばれてきた患者を撮影台のベッドへ移乗しようと思い、患者の体が撮影台と離れていたため、身を乗り出して患者の体を持ち上げようとした際に腰に激痛	24	911	19	300 ~

			が走った。					499
2017	7	10～ 11	病室にて患者が興奮していたため、患者を落ちつかせようと椅子に座らせた。しゃがんだ状態でセラピストと一緒に両手と左足を押さえていたとき、患者の左足が左膝を蹴ったため床に倒れ、起き上がった際に再度同じ部位を蹴られた。	33	999	99	～	300 499
2017	7	16～ 17	早出勤務を終え、駐輪場にて帰宅しようとバイクに乗り、発進しようとアクセルを回したとき、バイクを支えるために地面についていた右足首を捻じった。歩行困難のため同僚に送ってもらい、病院を受診したところ、骨折はなく、靭帯損傷の疑いとの診断を受けた。	28	231	19	～	100 299
2017	7	10～ 11	感染症である?癬が発症していた入居者の部屋にて、その入居者に対し、オムツ交換や移乗介助を約1ヶ月間行った際、疥癬に感染し発症した。当時疥癬を発症していた入居者は、疥癬の診断がついておらず、オムツ交換や移乗介助の際、当職員はガウンテクニック等を行っていなかった。	40	514	12	～	300 499
2017	7	10～ 11	薬局前の階段を上がろうとして踏み外し、転倒した際に左手をついた。	55	413	1	～	100 299
2017	7	11～ 12	食堂にて職員昼食リストの確認をしているとき、心室細動で意識を消失して転倒し、頭部左側を強打した。	61	417	2	～	500 999
2017	7	12～ 13	病室にて患者のオムツ交換を1人で行っていた際、患者を右側臥位にしようと思ったが患者の体位が安定しなかったため、右手で患者の背中を押しながら、左手で病衣のズボンを下げようとしたときに腰に激痛がはしり、一時オムツ交換を中止した。他のスタッフに声をかけ2人でオムツ交換を行い、その後も激痛は続いたが、その後、入浴介助の当番だったので仕事を続けた。入浴日はどのス	38	921	19	～	100 299

			タッフも忙しく自分が痛いと言えない状態で、仕事終了時間まで勤務したが、家に帰っても激痛が続いたため翌日に受診した。				
2017	7	19～ 20	2階東病棟病室にて、患者をポータブルトイレからベッドに移乗介助した際に、患者の力が抜けて倒れそうになったのを支えたため、移乗介助後に腰痛となった。	26	921	19～	500 999
2017	7	15～ 16	病院の病室内にて、患者の排泄介助（おむつ交換）をしていた際に、右手親指に痛みがはしった。その後、痛みを我慢しながら就業していたが、痛みには耐えられなくなった。	37	911	19～	100 299
2017	7	14～ 15	東4階病棟にて、車椅子ごと測定する体重計で患者の体重を計測後、車椅子の後ろに回り込んで降ろす際に、体重計の角に引っ掛かり転倒し、両膝と右肩を打撲した。	58	417	2	500 999
2017	7	11～ 12	入院患者に対して昼食の準備をするため、3階配膳室にて薬缶で湯を沸かし、ポットに湯を注ぎ入れようとして薬缶を持ち上げたところ、把手が外れ、中の熱湯が両足にかかった。	43	391	11	30～ 49
2017	7	5～6	4階病棟のナースステーションで、足を組んで椅子に座っていた。巡視のために椅子から立ち上ろうとしたとき、足の感覚が無く、バランスを崩して転倒した。その際に右足を強く捻り、痛みと腫れがあったため受診した。	35	921	2	100 299
2017	7	16～ 17	外来棟2階Sブロック付近（エスカレーター前）にて、来客を見送るために急いで移動していたとき、廊下で靴が滑り転倒した。	32	418	2	1000 9999
2017	7	10～ 11	院内を移動のためナースステーションへ入室する際、足首を捻り、左足甲の部分を骨折した。	41	417	19	10～ 29
2017	7	16～ 17	配膳室で、洗浄した保温食缶（直径約40cm、高さ約40cm、重さ4kg）を乾燥室（高さ約1.5m、棚3段）に入れようとしたとき、手が滑って落とし、右膝を強打した。その後、湿布等にて様子を見ていたが、膝がガクツとしたり、痛みがとれないため病院を受診し	62	611	4	500 999

			た。				
2017	7	10～ 11	出張先へ向かうために自動車を運転中、玉突き事故で止まっている4台目の車（大型車）の後部に追突した。その後、自力で車外に出て、救急車で搬送された。	30	231	17	1000 ～ 9999
2017	7	16～ 17	隔離室を巡視中、患者が水分を要求したため隔離室のドアを開け、コップを渡そうとしたところ引き倒され、頭部を床に叩きつけられたり、顔を引っかかれるなどした。病院を受診したところ、頭部打撲の診断を受けた。	31	921	6	300 ～ 499
2017	7	9～ 10	病室で患者をベッドに移乗後、車椅子を後方に下げているとき、車椅子の右側タイヤ周囲の金具に足を挟み、車椅子と共に右側へ横転した。	58	362	2	50～ 99
2017	7	18～ 19	病室にて、車椅子からベッドに患者（60代男性）を抱えて移乗するとき、患者が体を動かしてバランスを崩し、左足を捻った。痛みはあったが、脹脛だったので筋を痛めたのだと軽く思っていた。その後も痛みは続き、三日後に内出血も出てきたので、市販の痛み止めでのいでいたが、痛みも増し、正座も困難になった。	47	911	19	300 ～ 499
2017	7	17～ 18	当院病室にて、認知症で暴言・暴力的な行動が見られる患者さんの食事介助をしていた際、患者の口にご飯を入れた瞬間、吐き出したため、その勢いで患者の手が顔付近に来た。その際、反射的によけたが勢い余って壁に激突し、背中および腰を強打した。その10分後に痛みが強くなったため病院を受診したところ、腰・背部打撲により、1ヶ月程度の療養が必要と診断された。	46	418	3	300 ～ 499
2017	7	14～ 15	院内2階の物干し場から洗濯物を持って、1階診察室に通じる階段の途中で足を踏み外し、左足首を強く捻り、剥離骨折した。	39	413	1	1～9
2017	7	11～ 12	調理場で野菜を切っていたとき、包丁で右手人差し指を負傷した。傷口が深く、出血が止まらないため病院を受診し、6針縫合した。	48	364	8	30～ 49
			消防研修時、2人組でおんぶをして2階から1階へ安全に降りる訓練				100

2017	7	15～ 16	を行った際、自分がおんぶしてから相手を降ろそうとしたとき、左腰部に痛みがはしった。そのときは大丈夫であったが、翌朝になり、左腰から左足に痛みを感じた。	40	911	19	～ 299
2017	7	11～ 12	当院階段の踊り場にて、2階ナースステーションに物品（タクシーチケット等）を返しに向かっている際、方向転換したときに腰に痛みがはしり、ナースステーションに着いた頃には動けなくなってしまった。	42	921	19	30～ 49
2017	7	11～ 12	ヘルプに向かった外来処置室での処置看護中、ベッド上から寝たきり状態の体重の重い患者を2人で車椅子に移乗させていた。寝たきり患者の離床および移乗には、理学療法（医療者）によると5名で対処すると書かれているが、2人で移乗を行なったためかなりの負担がかかり、有害な状態であった。離床途中に腰の痛みが発生したが、仕事を抜けられる状態ではなかったため、無理して業務を続けていたところ、歩行困難に陥った。	48	921	19	50～ 99
2017	7	9～ 10	閉鎖病棟にてスタッフが殴られ、駆け寄ったところ、同患者に突然殴りかかられ、倒れた後にさらに蹴られた。その後、様子を見たが、頭がボーっとするような気がするため受診した。	34	911	90	～ 299
2017	9	11～ 12	当院、新館4棟の院内デイルームで昼食の為、患者様を誘導している時に廊下の床が少し濡れていたのを気づかずに足を滑らせて前方に転倒し、膝、目頭を強打し負傷した。当院で湿布等の処置をして勤務し、翌日は休み（土曜日）だったので自宅で安静にし、日曜日は出勤の為、湿布等の処置をして勤務したが、痛みが緩和されず、受診した。	60	416	2	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	病室のベッドで患者の体位交換を二人で行っている時に、中腰でシーツを持って患者を手前に押した際に腰に負荷がかかり、鈍い音と共に痛みが出たものである。	28	719	19	300 ～ 499
			病棟の休憩室で、仮眠をし、トイレへ行こうと電気をつけたら、台所に蠅がいたので、椅子に登って取り、下りようとしたところ、				1000

2017	9	1~2	滑って転倒した。その際、右腕、腰、くるぶしを打った。腫れがあり、冷やして様子を見て勤務終了後に受診した。	46	391	1	~ 9999
2017	9	8~9	当院病室から準備室に行くため、廊下を急いで歩行中、靴が床面に引っかかり前方へ転倒し負傷した。	67	417	2	300 ~ 499
2017	9	11~12	昼食時、食堂で部屋の食事介助が必要な患者様の食事を準備している時、3段キャスターへお膳を乗せて配薬する際に、キャスターの正面に立ち、右側のお膳に配薬時、2段目の為1歩右足を出して、中腰になった。その時、左腰の筋肉がずれた感覚と激痛が走った。腰への負担が掛かった為と思われる。	56	362	19	300 ~ 499
2017	9	17~18	仕事中に廊下を歩いていて左足を捻って負傷した。	38	417	2	50~ 99
2017	9	13~14	休憩が終わり、午後の勤務につく前に総合受付内を移動中、コピー機の横に置いてあった封筒入りのダンボール箱（250×400）に左膝下を打撲し受傷した。数日後、左下腿後面に疼痛・腫脹がみられ徐々に憎悪した。	49	911	3	500 ~ 999
2017	9	16~17	訪問看護のため利用者宅に向かって、原付バイク走行中、交差点右折直後、雨のためスリップし左側に転倒し、下肢が原付バイクの下敷きとなる。痛みと腫れが強くなり、整形外科病院でMRI検査を受けた。	57	231	17	100 ~ 299
2017	9	11~12	上記日時に、当病院2階観察室において入院中の患者様をベットに横たえさせるため、患者様の両足を中腰状態で両手で持ち上げている最中、力が入りすぎたためか左脚ふくらはぎに強い痛みを感じ病院にて受診したところ、左脚腓腹筋筋膜炎と診断されたものである。	39	921	19	100 ~ 299
		14~	訪問看護中利用者様宅にて、利用者様がベット下部に下がっていた為、頭部側へ移動させようと、御家族といっしょにベット頭部側か				100

2017	9	15	ら利用者様の脇を持って移動しようとしたところ、自分の右胸部に痛みが走り、それ以後、右胸痛より、整形外科受診で、右肋骨骨折と診断された。	56	911	19	～ 299
2017	9	13～ 14	病院2階の洗濯場から台車にタオルを積んで運ぶ際に、足が台車にひっかかり、躓いて転倒、その際に右手を床について右手首を痛めた。	67	379	2	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	入院患者の体重測定のため421号室にストレッチャー型体重計を看護補助者2名で移動した。入り口の段差を乗り越える為前頭から自分が引き、後方から他の看護補助者が押して入る時に入り口の壁とストレッチャー型体重計に挟まれ、右第4指を受傷した。	58	419	7	500 ～ 999
2017	9	16～ 17	病室内にて看護師業務を行っていた、車椅子乗車中の患者さんに、クッションを当てようと、室内手摺りに干していたので取りにいった。患者さんの元に行こうとした際、ベットのストッパーに右足をひっかけてしまい、左手を下にして横向きに転倒して受傷した。	70	379	2	300 ～ 499
2017	9	17～ 18	病室にて不穏患者対応中に主治医より胴・両上肢拘束指示あり、準備の際に屈んで拘束準備をしていたところ突然患者が顔面を足蹴りした、鼻骨を骨折及び切創。	46	921	90	500 ～ 999
2017	9	9～ 10	病院の厨房において、野菜を切っていたところ、誤って左手の人差し指の爪の辺りを包丁で切った。	23	379	8	100 ～ 299
2017	9	1～2	夜勤帯の巡回中患者よりトイレ介助の要望があり、トイレへ誘導し介助後病室誘導を行う。病室内は就寝時刻であり消灯された状態で、多床室ということもあり電気をつけず臥床介助を行っていた。明かりは出入り口横にあるフットライトのみであり、介助を行っていた際に1歩後ずさりをしたところ患者のくつがそこにあり、そのくつに足がからまりバランスを崩したところから、後ろ向きに転倒、左殿部、腰部、左背部を強打する、明かりが介助を行っていたベッドの方まで届いていなかったため、くつがみえていなかった状	38	417	2	50～ 99

			況がある。				
2017	9	7～8	精神療養病棟のデイルームで、患者が床に唾をはいていたため、当労働者（准看護師）が「唾を拭いてね」と患者に紙を渡したところ、一度は紙を受け取ったが、その後、当労働者を突き飛ばした。当労働者は左膝をひねり、直後に「ブチッ」という違和感とともに強い痛みを覚えた。	53	911	19	100 ～ 299
2017	9	11～12	介護の送迎車の不具合が発生し、車の修理点検のため、会社で点検を受け、事業所に帰る際、車に乗り込もうとした時に足を滑らせ、駐車場に転落し、右大腿骨と右肩を強打した。あいにく雨天で滑りやすい状態であった。	56	221	1	10～ 29
2017	9	12～13	検診終了後に検収車を駐車場に駐車した後、車内の荷物を取ろうと助手席側から荷物を取り昇降ステップを踏みそこね、腰部から地面へ落ち腰部を強打した。	50	231	1	300 ～ 499
2017	9	9～10	肘付き椅子を利用し、収納庫の上に上り、壁に設けてある、月、日、曜日の札をその日の分に取り替え作業で、取り替えを終え、収納庫の上から後向きで降りようと、右足を椅子にかけたが、かけそこねて転落、右背中を椅子の肘で強打し骨折した。	47	379	1	300 ～ 499
2017	9	20～21	当法人に於いて、患者の身体がベット下方へずり落ちていた為、ベット横に斜め30度ぐらいに立ち、脚を開いて中腰の体勢で患者の身体を両手で抱えベット上方へ引き上げようとした際、腰部に強い痛みを感じた。以後痛みが強くなってきた。	39	921	19	50～ 99
2017	9	14～15	精神科病院内の2階認知症治療病棟レク室ホールにおいて、精神科作業療法プログラム（集団回想法）を実施中、リクライニング式車椅子から転落しそうな参加患者を発見したため、駆け寄り、身を投げ出して支えた事で腰椎を受傷した。	37	921	19	100 ～ 299
2017	9	9～10	患者をベットから抱き起こすとき、ベットのストッパーがかかっておらずベットが動いたので、患者を抱えていたので、股関節が開き負傷した。	64	911	19	500 ～ 999

2017	9	13～ 14	患者用の浴室脱衣所で、入浴後にベッド上で仰臥位になっている患者をタオルで乾かしている時に、患者の足下にあるタオルに対して、ベッドの位置が高い状態があり、タオルを取り除こうと手を伸ばした時に腰から背中にかけて激痛が走った。	33	379	19	～ 499	300
2017	9	17～ 18	病院内厨房において、病棟から戻ってきたデリカート（パワーアシスト付適温配膳車）を所定の位置に戻す作業を行っていた。デリカートを手前に引こうとした際に、思った以上に勢いがあった、そのためデリカートと左横に設置してある食器乾燥機の間には身体の左半身を挟んで負傷した。	58	362	7	～ 499	300
2017	9	11～ 12	病院内厨房において、患者の昼食を用意するため、食材を切り分ける業務を行っていた。その際、包丁で左手人指し指を切傷したものである。	53	364	8	～ 499	300
2017	9	20～ 21	精神科急性期高齢者病棟にて、夜勤勤務をしていた、男性患者様が廊下でドアたたきをはじめられた為、制止しようと声掛けしたところ突然胸ぐらをつかみ殴りかかって来られたので、患者様のこぶしを両手でつかみ落ちつかせようとしたが、抵抗激しく引き続きこぶしを離さず制止対応していると右手首に痛みを感じ、その後も痛みは続いた。	30	921	6	～ 499	300
2017	9	11～ 12	調理場で食材を取りに行き、物を持って帰る時に溝が浮いている場所につまずき転んでしまい、右膝骨折したものである。	55	418	2	～ 999	500
2017	9	7～8	エレベーターに配膳車を乗せるために配膳車を移動させる際、職員を避けながら配膳車をエレベーター前に移動させたため、いつもと配膳車の角度が違い配膳車に足を巻き込んだ。	49	362	7	～ 9999	1000
2017	9	20～ 21	病院内西館3階廊下にて患者に用いる容器（ガーグルベースン）を輸送中に躓き転倒、負傷する。	59	379	2	～ 499	300

2017	9	14~ 15	一般病棟ナースステーションで机に向かって立ち、右手に電話子機、左手に電話番号一覧を持ち番号を確認していた時に、少し右斜め後ろで移動したところ、丸椅子の足に右足が引っかかり後ろ向きに転倒した、床で臀部を打撲した、その後、仙骨骨折と診断を受けた。	52	379	2	100 ~ 299
2017	9	18~ 19	病室内の患者が食事を摂るために、ベッド頭部を起こしていたが、足元の方へ身体が下がっていたので、一度ベッドを下げ、両脇・肩甲部に左手、臀部に右手を深く差し込み固定し、頭部へ患者を抱え上げながら中腰で左方向に体を捻った際に、腰部に激的な痛みが走った。患者は臥床状態認知症あり、体重約40kgであった。	49	999	19	100 ~ 299
2017	9	16~ 17	病棟詰め所の奥の処置室で、ソファに座って準夜帯の申し送りを聞いていた、申し送り終了後、ソファから立ち上がった際、左ひざを少し捻ってしまった、その際、腰が少し「ゴキ」という音がし、違和感を覚えた。	67	921	19	300 ~ 499
2017	9	12~ 13	入浴更衣介助後、歩行器への移動の際に患者の足に引っかかりふらつきがあった、急に患者がふらついた為、患者の腰を両手で支えた際に、腰がぐきとなり激痛が走った。	44	921	19	300 ~ 499
2017	9	15~ 16	運動療法室にて転倒リスクの高い患者さんを近位監視で歩行介助中、患者さんがふらついた為、正面から支えようとしたが、支えきれず患者さんとともに左側方へ転倒し左膝を打撲した。	35	417	2	100 ~ 299
2017	9	8~9	第3診察室後ろの通路で、クロロ酢酸を取りに行こうと処置室へ歩いて行っていた、床には何も無いがつまずいた、靴の調子があまりよくなく、最近よくつまずいていた、足が床につまずいて転倒し、左肘を打撲した。	58	417	2	10~ 29
2017	9	14~ 15	1階の事務所に行く為、階段を下りようと踊り場との扉を開けたところ、他の通路から出てきた職員2名と鉢合わせになった、急いで降りようと慌てた為、自身のズボン左裾に右足をひっかけてしまいバランスを崩し階段を踏み外した、前のめりのまま次の踊り場まで	48	413	1	100 ~ 299

			の8段を落下し、左目下と頬、左前腕部を強打した。				
2017	9	10～ 11	当院2階の患者様の病室から2階ナースステーションへ向かう廊下において、両手に使用後の点滴を持って歩いているところ、業者による清掃作業後で廊下が濡れている状態であったため、右足が滑り転倒しそうになった為点滴を持った状態で手を床についた際に左第5指を負傷した。	48	417	2	10～ 29
2017	9	9～ 10	日勤業務で安全係を担当中、デイルームにて患者様の安全を見守りながら車椅子を所定の位置に片付けた際、白衣のズボンのすそが車椅子車輪支持棒に引っかかり、バランスを崩し左側に転倒する、自力での起立不可、左大腿部から左殿部にかけての疼痛あり救急外来受診にて、左大腿骨頸部骨折の診断を受ける。	57	362	2	100 ～ 299
2017	9	0～1	口腔内吸引の際「口をあけるように」指示するが開口せず、看護師が開口しようとした際、口角から左人差し指を入れた時、手袋ごと左手第2指先端部を噛まれ受傷した。患者は指示に従える時とそうでない時がある、（日内変動あり）理解力については不明瞭、寝たきりの方である。病名、脳出血後遺症、重度の意識障害。	46	911	90	300 ～ 499
2017	10	14～ 15	業務中、院内を移動している際に階段を踏み外し、右足首をひねり靭帯を損傷した。	21	413	1	500 ～ 999
2017	10	4～5	8階病棟3号室にて患者（92歳44.2kg）をベッドから車椅子へ移乗介助の際、患者の腰辺りを抱えながら立ち上がったと同時に、背部に強い痛みを感じたためすぐに受診した。	56	921	19	500 ～ 999
2017	10	15～ 16	患者様搬送のため、ストレッチャーで移動しようとした際、ストレッチャーがベッドに引っかかり本人の手が離れた瞬間、ストレッチャーの車輪部分に足が引っかかり転倒、膝から床に着き、右膝を負傷した。	56	362	2	100 ～ 299
2017	10	14～	入浴介助の作業中シャワーホースに引っかかり転倒し、右肩を痛め	59	417	2	300 ～

		15	腕が動かなくなった。						499
2017	10	18～ 19	病棟詰所カウンターに患者が歩いてきたので、話を聞こうと近づいたところ、患者が後方へよろめき転倒しそうになり、両腕で支えたが、突然方向を変え支えて居る左手に勢いよく押しかかってきたため負傷した。	52	921		19	～	300 499
2017	10	17～ 18	病院発の送迎バスに乗車し、駅に到着した。降車の際、右足を地面に着地したところ、足関節に強い痛みでその場に2～3分立ち止まった。痛いながらもゆっくり歩けるので地下鉄で帰宅した。帰宅したところ右外果部の腫れが強く、冷湿布して休んだ。	64	921		19	～	300 499
2017	10	15～ 16	ベッドサイド脇に垂れ下がっている隣のベッドに移動時、垂れ下がっていたラインに右足をひっかけ、ナースシューズが脱げ右足からフロアーに転び右膝を強打、左手首強打した。	58	417		2	～	500 999
2017	10	8～9	早番で患者様に朝食介助をし、終了したため、下膳しようと立ち上がったたら腰が痛み出した。	42	921		19	～	300 499
2017	10	15～ 16	医院の敷地内にある半地下の蔵の中が台風21号の雨で浸水してしまい、その溜まっている水を外へ汲み出すために、蔵に通じる階段を下りている途中、滑って転倒し、背中を打った。	49	413		2	1～9	
2017	10	12～ 13	HK（掃除）課プレハブ棟2階の控室において昼休みを終え、勤務場所に向かおうとした際に、右足が隣のイスに引っ掛かってしまい転倒。自分の後ろの、テーブルの脚に左手第5指をぶつけてしまい脱臼した。	47	417		2	～	1000 9999
2017	10	10～ 11	両手にトレイを持ち運んでいる時に、ガスコンロの種火着火用のゴムホースに右足が引っ掛かり転倒した。その際に左足を捻り負傷した。9月にガスコンロを新しく購入し設置した為、種火着火用のゴムホースが以前より長くなっていて足が引っ掛かってしまった。	70	391		2	～	100 299
			病室内患者のオムツ交換終了後、移動しようとし、ベッド下のコー						

2017	10	10～ 11	ドに左足が引っかかった。転倒を防ぐためベッド柵につかまろうとしたが、空振りし、更に体全体をひねりながら、左足ひざ下の皿の部分ベッド柵にぶつけながら左体側部より転倒した。打ちつけたひざなどが痛みが強く走ったが、冷やしたり、対処し、当日は日勤を最後まで続けた。	68	419	2	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	職場の4階の部屋でインフルエンザ予防接種を受けた時、身体が不安定な状態で受けた処置によって、当注射の何らかの影響で右腕に神経症状が現れた。	32	999	99	500 ～ 999
2017	10	10～ 11	通所介護施設内にて、利用者の立位訓練中、利用者がバランスを崩し、それを支え、立位保持しようとする場面が頻繁にあった。背腰痛があり受診し、?11胸椎圧迫骨折の診断を受けた。	59	911	19	100 ～ 299
2017	10	7～8	病院の居室にて、朝食前に、患者さんをベッドの上（頭側）へ移動させる為、もう1人の助手と2人で持ち上げ移動させようとした際、左腓腹筋（ふくらはぎ）を損傷。	44	911	19	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	病棟内に疥癬患者が数名いてグローブやガウン装着し、日々看護ケアを行っていた。手背に発疹がみられるようになり受診し疥癬の診断あり。	37	911	90	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	病棟内で夕薬を配布している時、患者様が転倒しそうになっているのを発見し、患者様を支えようとしたが支えきれず、自分自身も転倒し負傷した。	48	911	2	100 ～ 299
2017	10	12～ 13	当院入院中の男性患者様を昼休みの為、1階から2階の自室へ誘導する時に、1階の女性病室に入室したことを注意したところ逃走。焦って病室入口にてサンダルを脱ごうとした時に受傷した下腿を痛める。	43	417	2	50～ 99
2017	10	19～ 20	当院リハビリ室で新しい医療器具設置に伴い、ベッドの移動をしようと二人で持ち上げた時、予想以上に重く体に負担がかかり激痛をきたした。	37	611	19	10～ 29

2017	10	10～ 11	デイケアセンターの施設内の脱衣場所で、完全麻痺のある大柄な利用者の介助中に、車椅子に座っている利用者の服を脱がせるため中腰の姿勢で使用者の下肢を持ち上げたときに、バランスを崩してしまい自身の体勢が崩れたため腰に負荷がかかり、腰を負傷した。	39	921	19	30～ 49
2017	10	17～ 18	タイムカードを打刻し帰ろうとした際、忘れ物に気づき2階病棟ナースステーションへ取りに行った時、両手に荷物をたくさん持っていたためバランスを崩し前方へ倒れ右おでこ、右手、両膝を床で強く打ち負傷した。	47	417	2	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	入浴介助中、患者さんに足湯を行おうと直径41センチ、深さ16センチの「たらい」に浴槽からお湯を汲み、患者さんの所まで運び、足元に「たらい」を下ろそうとした際に腰に激痛が走り、痛みのため動けなくなった。	43	921	19	300 ～ 499
2017	10	13～ 14	病棟ホールより車椅子の患者を病室ベットへ移す際、激痛があった。その後痛みも軽かったので勤務したが、翌日になり激痛により動けない状態になった。	77	921	19	300 ～ 499
2017	10	14～ 15	3病棟1階詰所から2階へ上がる中庭の螺旋階段手前で雨上がりで足元が濡れていたため滑って転倒、右肘を強打した。	68	417	2	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	特殊浴室より患者搬送のため、靴が濡れていた状態で廊下へ出てしまう。その時、少し早歩きであったため、足元がふらつき、エレベーターの前あたりで右足が滑り転倒し、左手でかばったため、その反動で左顔を強打した。	48	417	2	100 ～ 299
2017	10	12～ 13	ボランティアによる演奏会の準備を行う最中に急ぎ階段を下りようと、2段飛ばしで降りた時、着地の際に左足を捻り、腓骨を剥離骨折する。	28	413	3	500 ～ 999
2017	10	13～ 14	検温のため、ベッドで寝ている患者の足元から近付いた際、患者に右手の甲を蹴られた。	70	719	6	100 ～ 299

2017	10	11～ 12	病室で窓の掃除をしている際に、窓の外を拭こうとして、柵に前のめりになり身体を起こそうとしていた時に捻った。	73	419	19	～ 499	300
2017	10	11～ 12	病室にて患者様の検温をするため体温計を挟む援助をしようとした際、患者様が突然暴れ出し右腰を蹴られ、勢いでそのまま転倒した。	56	921	6	～ 299	100
2017	10	9～ 10	3F包括ケア病棟の患者のオムツ交換の際、ベッド左側に立ち右足を1歩前に出して体位変換を支えた（患者の背中を押した）。急に後ろから誰かにふくらはぎを蹴られたような痛みが左下腿にあり歩行できなくなった。外的要因はなし。	51	999	19	～ 299	100
2017	10	13～ 14	2病棟内にて、右側臥位で臥床している入院患者を体位転換する際2名で行ったが、右肋骨部をひねった時に痛めた。当日帰宅してから痛みが増した。	74	911	19	～ 299	100
2017	10	9～ 10	3階から2階へ移動中手すりに手をかけた時、手すりが回りバランスを崩し右足を捻挫した。	54	413	19	～ 299	100
2017	10	8～9	ベッド上の寝たきりの患者の体を他の看護師と2人介助で、自分の位置より奥へ移動させる時、自分側にあったベッド柵に右胸を強打した。	52	379	3	～ 499	300
2017	10	12～ 13	広場にて開催された病院フットサル大会に参加した。試合中相手のシュートを止めようとした際に、相手のシュートの勢いに負けて、膝をひねってしまった。	26	921	19	～ 999	500
2017	10	11～ 12	第1診察室にて診察介助、患者が身支度を調べ診療台で端坐位をとり、靴を履こうとしたところ、後方へ倒れ転落しそうになり、咄嗟に患者の身体を支えた。その際に自分の身体の体勢が崩れ、診察台に右下腿をとられ受傷した。	52	911	19	10～ 29	
		11～	外来処置室にて、ガス滅菌器撤去中に「カボックスー20」のガス漏					300

2017	10	12	れが発生し、呼吸時に吸引し、また液化物を右大腿部付近に被ったことにより、10分後くらいから中毒症状を発症した。	63	519	12	～ 499
2017	10	11～ 12	病院で祭りがあり、患者様を迎えに行き帰る時、他のゲームのとなりを通った。4～5人の車イスの方の前方にカートがあり、引き返そうとしている方や前進している方で立ち往生した。前方のカートを動かそうと前に出た時、車イスのタイヤが右足の甲の上に乗った。	50	362	6	～ 499
2017	10	10～ 11	乾燥した洗濯物を仕分けしようと足を一歩踏み出した時に、台の下にあるスノコに右足小指が当たり、痛みが生じた。その後、痛みと腫れが強くなってきた。骨折と診断された。	63	391	3	～ 999
2017	10	15～ 16	病院中庭にて、レクリエーションの運動会のリレー競技に参加し、第1走者よりリレーバトンを受け取り、走る際にカーブで足をとられ、体勢を立て直そうと踏み込んだ際に、右足の甲に圧痛があり、歩行困難となり、続行不能となる。精査の結果、右足第1楔状骨骨折の診断を受ける。	37	921	19	～ 299
2017	10	9～ 10	4人部屋の病室にて男性患者様を車椅子からベットへ移乗介助中に受傷。移乗はトランスファーボードを使用して行い、その時の姿勢は中腰だった。ベットへ移乗した直後に右腰背部に重だるさとズキッとする疼痛を認めた。	31	911	19	～ 999
2017	10	10～ 11	病棟空調機械室内に設置してある空調機上（床より約2.4mの高さ）にて降雨による雨降水の処理作業をしている時に足場が悪く体勢を崩し転落した。	62	391	1	～ 999
2017	10	21～ 22	当施設会議室内に於いて、施設で催す秋祭りの準備作業を行い、作業が終了し模造紙を棚の上に戻そうと椅子に乗ったところ、バランスを崩して椅子から落ち、その際、床に臀部を打ち負傷した。	43	391	1	～ 299
2017	10	17～	210号室の患者さんのベット脇でポータブルトイレ介助後、夕食準備のため、枕元を整え起き上がられない様に声掛けしながら後ずさり退室しようとして、センターマットのコードに足を引っ掛けバ	56	351	2	～ 100

		18	ランスを崩し、ポータブルトイレ側に倒れそうになったので避けようとして、後に倒れた。その際に左手をついて、尻餅をついた。					299
2017	10	10～11	空気清浄機がうしろにあり、業務スペースが狭かったため、1人で男性の患者様のオムツ交換を行って、枕の位置等ベッドで横になっている位置を正しくしてあげようと抱えた時に、予想以上に重くふらついてしまい、腰を痛めてしまった。	60	921	19	～	100 299
2017	10	4～5	入院患者病室の患者ベッドサイドで、シーツ・布団・寝衣交換等、中腰姿勢で施行した後、点滴再挿入中に患者が嫌がる体動があったため、無理な姿勢となり腰部に負荷がかかった。	40	921	19	～	300 499
2017	10	17～18	業務が終わり3階の所属病棟から階段にて降りて更衣室まで行こうとしたところ踏み外し、足を捻る形で骨折した。	64	413	19	～	100 299
2017	10	15～16	職場（HCU）のフロアで。患者様の付けていたO2チューブ（O2ボンベと接続）に横を通りすぎようとした時に右足を引っかけて前方に転倒、その時にフロアで右足膝を殴打。	63	391	2	～	1000 9999
2017	10	15～16	患者様の洗濯物を整理して配っていたところ、当日は入浴介助日で廊下に水滴が落ちていた様でお風呂場の先の207号室前で水滴を踏んでしまい、滑って左膝を付いて転んでしまった。	56	417	2		50～ 99
2017	10	9～10	患者の処置（点滴や体位変換などを中腰で行っていた）に一人で病棟内をまわっていた際、腰から下が重く感じ、ビキッとした痛みが走った。その後、歩行困難なくらいの痛みが出現し、職場を早退した。腰の専門医が不在だったため、後日改めてMRIなどの検査を行うことになった。湿布、痛み止め（飲み薬と貼る用の薬両方）、胃薬、筋肉を和らげる薬が処方された。ゆっくりなら歩行可能な程度のため、翌日の勤務は休むことになった（自宅療養する）。	55	921	19		50～ 99
			病棟、病室において患者様の体位変換作業中、患者様をベッドの上					300

2017	10	8~9	で抱えるようにしていて痛めた。	26	921	19	~ 499
2017	10	17~ 18	夕食が終わり配膳車を厨房に下ろして病棟に戻ろうとしていたら呼び止められ、慌てて振り向いたら転倒して座り込んでしまう。その後立とうとするが左アキレス腱が断裂していて動けなくなる。	33	417	2	10~ 29
2017	10	9~ 10	療養病棟病室320号室で患者様をベッドから起こして、車椅子に移動する際に力を入れたとたん、胸背部に激痛があり、そのまま患者様の膝元に倒れこんでしまい動けなくなった。	56	911	19	50~ 99
2017	10	9~ 10	整形外科外来前で患者問診中、医師に呼ばれたため、小走りで向かったところ診察室前で勢い余って転倒し、尻餅をついた。臀部痛により、起き上がることが出来なかった。	63	417	2	100 ~ 299
2017	10	18~ 19	夜勤中、患者様の入れ歯を洗うため病室内の洗面台に行く際、病室内のコンセントコードに足をひっかけてしまったが、入れ歯が割れたらいけないと思い、入れ歯から手が離せなかったため、肩から倒れ右肩を脱臼した。	58	351	2	100 ~ 299
2017	10	15~ 16	食堂から出た患者さんを追うため、体勢を変えて歩き出したところ、足が絡まり転倒した。	50	417	2	300 ~ 499
2017	11	18~ 19	配膳車を一人で搬送中、一度止まっていた。自動ドアが開いたので、移動させようと勢いをつけて引っ張った際、右足が配膳車と床の間に挟まり、前に倒れた。足が抜ける時、ゴリゴリという音がした。痛みが強く、歩行出来ない状態になった。	24	362	2	500 ~ 999
2017	11	9~ 10	居室にて椅子に上がって天井の電気カバーを清掃中、バランスを崩し転倒した際に左手を強打した。	58	391	1	1~9
2017	11	13~ 14	B4病棟の物品保管庫にて、棚上段（約180cm）に置いてあった経管栄養セットの箱を取ろうと近くにあった丸椅子（高さ43cm）に乗り箱に手を伸ばしたところバランスを崩し、頭から落下し、後頭部を	56	371	1	500 ~ 999

			強打した。				
2017	11	10～ 11	病棟において入院患者の入浴介助等の業務中、入浴後の患者をストレッチャーで移動しようとした際、全開にしていた出入口の引戸が動き出し、ストレッチャーの先頭部に位置していた当該職員の右第5指の第2関節が引戸とストレッチャーの間に挟まれた。	43	362	7	500 ～ 999
2017	11	11～ 12	冷凍庫前室にて原料を開梱中、前室入口のドアを開けた状態で作業を行っていたが、ドアが急に閉まってしまい、止めようとした際に左手人差し指を挟んでしまった。	48	911	19	100 ～ 299
2017	11	7～8	サービス利用者宅台所にて、調理後に生ゴミを捨てようとして、台所は狭く、シンクと後ろの食器棚は1m位しかなく、左後方のゴミ入れを取ろうとして腰を捻ってしまい痛めた。	30	417	1	300 ～ 499
2017	11	10～ 11	本社倉庫で機械搬入作業中、外に出る際、置いてあるワイヤーロープに躓き転倒した。脇に置いてあった発電機に右脇腹を強打した。	57	221	1	300 ～ 499
2017	11	16～ 17	病室にて吸引用ボトルの水を交換した際、洗面台の傍に置いてある空気清浄機のコードに引っ掛かりボトルを持ったまま前屈みで転び、その際腰を強打する。	64	417	2	100 ～ 299
2017	11	8～9	耳鼻咽喉科外来の3番診察室内で、吸引パックを交換するために持ち上げた際、腰を一瞬捻ってしまい受傷した。	39	391	19	1000 ～ 9999
2017	11	17～ 18	透析室内の中央付近にて、透析に関わる看護業務中に通路のスロープと処置床との段差を踏み外し、左足首の関節外果を骨折した。	48	416	2	30～ 49
2017	11	16～ 17	1-3病棟廊下において、日勤者からの申し送り後、患者様に挨拶の為各部屋に訪室していた際、先ほど訪室した患者様が後ろから走って来て、振り返る前に突然後ろから背中を2回殴打される。患者様に話を聞いている最中に腹部を1回殴打された。状況報告後、冷湿布施行し経過観察することにしたが、軽減せず医師の指示にて後日	33	911	90	100 ～

2017	11	9~10	病室にて入浴前の患者様の移乗時、ベッドの高さを上げようとしたところ、足元にオーバーテーブルがあるのに気づき、オーバーテーブルを動かそうと持ち上げた。その際、オーバーテーブルが滑り右足の上に落ちて来た。同日、整形外科にて受診した。翌日、整形外科を受診し、右母趾末節骨骨折・第2趾末節骨骨折・足部皮膚欠損創と診断された。	40	391	4	500 ~ 999
2017	11	8~9	食堂にて、利用者様の口腔ケアを行う為、向かう際ナースが朝の服薬介助を行っていた時にこぼれていた水で滑り右足が前方に出た状態で転倒、右足膝に痛みあり鎮痛剤を服用するも痛みは消えず歩行出来にくい状態が続く。	31	417	2	500 ~ 999
2017	11	13~14	患者さんの入浴介助を始めようとして酸素ボンベを荷台から抜こうとした時、ベッド柵から荷台が外れて左足の小指に落ちてひびが入った。	51	319	4	500 ~ 999
2017	11	15~16	施設内のトイレにて、車椅子に乗った全身不随の利用者（体重約63kg）の両脇を抱え、便座へ移乗していた時、急に利用者の脚が屈曲し、全体重が被災者に負荷され、腰部を負傷した。当日より、市販の痛み止めや湿布で処置していたが、その後症状が悪化し、体動が出来なくなり、救急にて病院を受診した。	59	911	19	50~ 99
2017	11	13~14	厨房内において、キャベツの千切りをしていた際、誤って左手人差し指を裂傷負傷した。	24	364	8	100 ~ 299
2017	11	10~11	厨房にて、患者様の昼食準備の為、刃が自動で回転する野菜調理機にて大根をいちよう切りにカットしていた。短くなると、ストッパーでのカットは型が崩れてしまう為、ストッパーを上げ、手に持ちカットしていた。思った以上に短くなっていた為、左第2指の肉を削ぎ落とす。専門的な治療が必要だった為、整形外科を受診する。	46	165	8	300 ~ 499
							100

2017	11	10～ 11	消化器外科急性期病棟にて勤務中、病室で臥床中の患者1名を頭側に水平移動していた最中に、腰痛を発症した。	26	921	19	～ 299
2017	11	18～ 19	ナースステーション横のゴミ集積場にて、ゴミを出す作業を行っていたところ、段差があり足を踏み外し体の右側部分を下にして転倒した。転倒後に夜勤看護師に患部を湿布してもらった。次の日に痛みが激しくなり、病院に行き、診察してもらった。	62	417	2	～ 299
2017	11	19～ 20	2階病棟のエレベーター前にて透析終了後の患者様をベッドで搬送後に透析室へ戻ろうとした時に、ベッドに敷いているエアーマットのチューブに足が引っ掛かり転倒し受傷した。	56	416	2	～ 499
2017	11	8～9	病棟病室にて患者の処置及びオムツ交換の為、職員2名で患者を抱えた際、腰の左側に痛み、しびれを覚え同日整形外科病院を受診する。	49	921	19	～ 299
2017	11	18～ 19	病室ベッドサイドで患者の服薬介助をしていた時、患者が外した酸素チューブに引っ掛かり転倒し、骨折した。	60	417	2	～ 299
2017	11	13～ 14	当院療養病棟入浴室で、お風呂のお湯張りが終わり、コックをしめた後、ゴムのサンダルに履き替え患者様の入浴の準備をしている時に、濡れた床でサンダルが滑って前のめりに転倒し、浴槽の縁で顔面を強打した。直ちに当院内科医の診察を行い、CT上、鼻骨骨折を認めた。右上顎にも変化が疑われたので、専門の病院への紹介を検討し、本人受診歴のある病院の形成外科に受診することとなった。	71	417	2	～ 299
2017	11	17～ 18	病院内3階食堂において入院患者の食事のための移動の付き添いをしていたところ、患者が椅子を引いた際に後ろ向きに倒れそうになったのを支えようとしたが、体勢を崩し患者の下敷きになる形で転倒した。その際に左の股関節を損傷してしまった。	39	911	3	50～ 99
		14～	病院内中央階段にて、リネン庫の鍵を取りに行くため階段をのぼっ				300

2017	11	15	ていた際、足を踏み外して右手をついた。その際、右手が反ったようになり、以後腫脹に疼痛が発生した。	48	413	2	～ 499
2017	11	14～ 15	当院1病棟3Fセンターで、業務報告し、指示を受けて、中央階段を急いで降りた際にバランスを崩して足を踏み外し、2段目の高さから転倒して、右踝付近を打撲し、捻った。痛みはあったが、腫脹、内出血は軽度だったため様子を見ていたが、翌日症状が悪化したため、病院を受診した。	54	413	1	50～ 99
2017	11	11～ 12	当院グループホーム屋上にて、ポータブルを洗い移動のため、屋上の水溜まりの中を歩行し、右足を置いた際に滑り、両足同時に開脚状態となり、右脚をアスファルトの床面に強打し負傷したものである。	54	417	2	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	病棟にて患者様を車椅子に移乗させる介助中に腰を捻じる。	39	921	19	100 ～ 299
2017	11	12～ 13	事務室で棚の上にある薬品の在庫を確認し、踏み台から降りる時に足を踏み外し、床へ転倒した。	67	371	1	1～9
2017	12	14～15	調理場にてダンボールを片づけようと両手で持ち歩いていた（業務時間終了間際であわてていた）。排水口のフタが開いていた事に気づかず左足が排水口の中に落ち転倒した。	70	414	2	300 ～ 499
2017	12	17～18	帰宅途中、職場敷地内を歩いていたところ、雪の塊につまずき足を滑らせて転倒した。転倒の際、うつ伏せに近い状態で右肩と右腕を強く打った。当番病院を受診したところ、骨折と診断された。	64	719	2	—
2017	12	15～16	敷地内のゴミ捨て場に向かう途中、地面の氷で滑り転倒した。その際、左肩を強打し、首左側にも強い痛みを感じた。その日の業務を終了し、自宅で様子を見たが、首左側や左腕の痛みが治まらないため、後日整形外科を受診した。	26	417	2	100 ～ 299
			厨房内で、バットを手に持ち、所定の位置に片づけ作業中に、3cm				

2017	12	16~17	程度の段差に落ち、そのまま転倒した。踵を着けば歩行可能であったため捻挫と思っていたが、翌日に受診した結果、骨折であると判明した。	63	417	2	50~ 99
2017	12	8~9	当院内廊下にて、患者さんに尿コップを渡した後、処置室に戻る際に、滑って転んで手をつき、右手を骨折した。	63	417	2	10~ 29
2017	12	10~11	社内の栄養課調理下処理室にて、野菜の切り込み作業をしていた際に、誤って包丁で左手親指を切ってしまった。	19	364	8	30~ 49
2017	12	7~8	職員駐車場で車から降りた際に氷に滑ってしまい転倒し、左膝半月板損傷となった。	39	719	2	500 ~ 999
2017	12	14~15	患者さんの身体がずり落ちているため、身体を持ち上げる動作を手伝って欲しいと他のスタッフより頼まれ、2人で患者さんの身体の下に手を入れ持ち上げようとした時に、中腰で頭部と上肢を支えようとし、ベッドの高さが低かった為、不安定な姿勢になり、持ち上げた時に腰部に激痛が発生した。	24	921	19	100 ~ 299
2017	12	7~8	出勤時、病院内駐車場に駐車し、数歩歩いたところで転倒し、右臀部と左手首を痛めた。臀部はまもなく痛みが消失したが、手首の痛みは増強し、受診後、入院・手術となった。	64	417	2	100 ~ 299
2017	12	8~9	病院内のごみを集め、両手にごみ袋を持ちごみ置場へ向かって救急入口より外へ出て歩いていた。当時は積雪もあり路面も凍結していた。気をつけて歩いていたが、誤って滑ってしまい転倒した際に手を地面につけてしまい受傷した。	58	417	2	100 ~ 299
2017	12	10~11	管理室調理場内で、調理器具のコンベクションを清掃中、床にこぼれた水に足をとられ滑って転び、臀部を強打し、そのまま後ろに仰向けに倒れ、一瞬意識を失った。臀部の痛みと、深呼吸すると胸が痛み、息苦しかった。	63	417	2	100 ~ 299
			出勤し、職員駐車場に車を駐車してから就業場所である病院建物に				

2017	12	7~8	移動中、道路と病院施設内駐車場の境に張りつけてあるチェーンに左足が引っかかり転倒し、右上腕と、左大腿部を負傷した。	49	419	2	—
2017	12	15~16	診療所内で透析患者の診まわり中、歩いていて足をくじいた。	42	417	2	30~ 49
2017	12	10~11	グループホームにおいて、認知症入居者のトイレ介助中に、お尻を拭こうとして手を伸ばした際、腰に負担がかかり、激痛により、立ち上がり困難となった。	41	911	19	500 ~ 999
2017	12	13~14	浴室脱衣場掃除用の長靴と手袋を着用し、掃除機がけを始めた。左側に移動する為、向きを変える時にコードに足をとられ転倒した。浴室掃除をしていた同僚が大きな音がしたので駆けつけ、声を掛けられた際、右側を下にして倒れていた。立ち上がるが頭がボーっとしていた為、しばらく椅子に座って休んだ。翌日、肋骨と右腕も痛かったが病院が休診のため自宅で安静にしていたが、まだ頭がボーっとしていたので不安になり、脳外科で受診した。右肋骨の痛みは徐々に軽減したが、右腕の痛みは改善しなかった為、後日に整形外科を受診した。	66	351	2	100 ~ 299
2017	12	13~14	車椅子トイレから歩行にて帰室する患者の左側からズボンに手を添え、付き添っていたところ、患者の左足が脱力し、倒れそうになった。転倒を防ぐため、必死に踏ん張ったが、支えきれず、患者の体が自身に覆いかぶさるように転倒し、右足を捻ったまま倒れてしまった。	39	921	2	1000 ~ 9999
2017	12	15~16	精神科病棟ホールにて、お茶のコップの回収作業をしていたところ、精神症状不穏の患者が、他の患者に対して暴言を言っていたので、やめる様に注意をしたが、その患者が無視して暴言を続けたため2~3度注意を繰り返した。すると突然その患者が労働者に対して、顔面を2回平手でたたき、体を押したため机に倒れ込んだ。倒れたところに足蹴りを加え、椅子で殴りかかろうとしたところを他の患者が制止した。	49	911	90	100 ~ 299

2017	12	9~10	看護助手2名で当直室のシーツ交換を行う時、壁に寄せてあったベットの人が入る位に開け、新しいシーツを取ろうとした時、ベットの脚に右足を引っ掛け、右斜め前にうつ伏せに倒れると同時に反射的に左膝が出て床に強く打ちつけ左膝蓋骨を骨折した。	62	391	2	100 ~ 299
2017	12	12~13	訪問リハビリ終了後、利用者宅からステーションに戻る道中でトイレ休憩のため、スーパーマーケットに立ち寄った。店内を出て訪問車へ向かう途中、凍結した駐車場にて右膝が曲がった状態で後方に転倒し、右足首・右掌を受傷した。	29	417	2	100 ~ 299
2017	12	14~15	透析中に急激に血圧低下し、ショック状態となった患者にモニターを設置・装着した際、同患者が吐き気をもよおし、誤嚥防止のため患者の体の向きを変えようとした時に左足~背にかけて痛みがはじまった。当日、当院救急外来を受診し、左横足根靭帯損傷と診断された。数日経過しても痛みが治まらなかった為、別の病院を受診したところ、左第3趾中足骨骨折、腰椎椎間板症との診断で1カ月の休業となった。	58	921	19	1000 ~ 9999
2017	12	16~17	書類運搬のため横断中、前方道路から右折してきた軽自動車に気付かず接触し転倒し、右脇腹等を打撲した。	58	231	17	10~ 29
2017	12	17~18	当院内においてデイケア業務終了後、片付け等の残務をおこなっていた。カウンター内の棚に利用者用の名札を整理しておくため布が掛けられている。この布の下方に名札を片付けるためにしゃがみ立ち上がる際に負傷した。	47	921	19	100 ~ 299
2017	12	8~9	入社時、当院職員駐車場にて車から降りる際、時間がなく、車のドアを開けて慌てて足を投げ出し、立ち上がろうとしたため、膝をひねり右膝を負傷した。現場は、砂利を敷いている舗装されていない駐車場であった。	62	231	19	100 ~ 299
2017	12	15~16	病室前の廊下にて、入浴予定の患者が入浴可能であることを確認するため、担当の看護師を探していた。当日は欠勤者もあり、予定よりも早く入浴を開始するために慌てており、そのため足を滑らせて	57	417	2	100 ~

			転倒し、右手を受傷した。				299
2017	12	17~18	終業後、事業場敷地内にある職員住宅へ行くための外階段を上る際、階段に躓き右手を強くついた。	31	413	2	100 ~ 299
2017	12	20~21	業務終了後、2階にある事務所を出て、事務所内にある階段を下りる際、1段踏み外して転倒しながら落下し、負傷した。	48	413	1	30~ 49
2017	12	10~11	風呂場で、介護職員と2人で患者をベッドから入浴用のストレッチャーに移動させるため、腰を曲げたまま抱きかかえたり、リフト浴に患者を入れた際に患者が沈まないよう、リフトの横から腰を曲げたまま患者を支えたりしていた。その行動を繰り返し行っているうちに腰が痛み出し、腰を伸ばすと激痛がはしり、歩行困難となった。	57	921	19	300 ~ 499
2017	12	22~23	病棟の階段で扉を開けようとした際、強い風圧がかかり、扉を支えきれず、右手2・3・4指を挟んで、右中指末節骨を折った。	55	418	7	500 ~ 999
2017	12	10~11	病院のリハビリテーション室で、リハビリテーション施術中の患者を車椅子からリハビリベッドへ移乗しようとした際、腰部に痛みを感じた。その後、体勢を前に屈める際や歩行時に、腰部の痛みや左踵部の痺れを認めるようになった。	25	911	19	100 ~ 299
2017	12	11~12	3階風呂場の外廊下で、他のスタッフが患者をストレッチャーから車椅子に乗せようとしていた。患者が立とうとしたときに上手く立てなかったので、介助しようとして患者の腰を持ったところ、姿勢が悪かったのか左腰がグギッとなった。	38	911	19	300 ~ 499
2017	12	16~17	ごみを乗せた大小2台の台車を片手ずつ前後で持って移動していたところ、段差で前の台車が傾いたのを止めようとして、右手で保持した。その後、背中と右上肢の痛みが出現し、湿布を貼ったが痛みが持続した。	64	921	19	300 ~ 499

2017	12	17~18	勤務を終えて、当院別館の階段を下りようとしたときに、一瞬意識がなくなり、気づいたときには、階段の下に座り込んでいた。その際、右下肢に痛みを感じたため、病院を受診した。	68	413	3	~ 299	100
2017	12	9~10	北館へ向かうため、南館1Fにてエレベーターに乗り、行き先ボタンを押そうとしたとき、外来患者（69歳・男性・統合失調症）が飛び込んで乗って来て、扉が閉まり、8Fへ向かうエレベーター内にて患者と二人きりになると急に話しかけられ、8Fに到着するまでの間に、突然拳で頭部・顔面・腹部を十回程度殴打された。	47	911	90	~ 999	500
2017	12	2~3	院内5病棟病室にて、体位交換の実施時、前傾姿勢で患者の体位交換をしている際に、本来であれば2名で行う体位交換を1名ですしていたため、思うように力が入らず左胸部を痛めた（左肋骨骨折）。	42	719	19	~ 999	500
2017	12	11~12	院内2病棟病室にて、被災者と他1名の2人1組でベッドのシーツ交換を実施した。ベッドとマットレスの間にシーツを挟み込むため中腰（前傾姿勢）で交換作業を行い、完了したため次のベッドのシーツ交換に移動しようと、中腰の体勢から体を起こそうとした際、右股関節に痛みがはしった。その後、全く動けなくなった。	65	921	19	~ 999	500
2017	12	10~11	6B病棟の洗濯室で、洗濯した物を乾燥機に移そうとして、乾燥機のドアを右手で開けようとしたところ、左手で持っていた洗濯物が重く、ふらついて、右手を床につき骨折した。	71	416	2	~ 999	500
2017	12	23~24	詰め所内にて、机に座り書きものを終えたあと、立ち上がろうとしたとき、机の脚とイスの脚の間に自分の左足が挟まったまま左横に転倒した。	45	911	2	~ 499	300
2017	12	11~12	病室にて、患者のベッドサイドでルートの差し替えを行おうと中腰になったとき、左膝に激痛がはしり、その場から動けなくなった。	37	921	19	~ 299	100
2017	12	11~12	HB室にて、脳外ルーチン検査に就いていた。6名で女性患者を隣のベッドへ移乗させていた際、患者の胴体部分を両手で持ち、真っ直ぐな姿勢から前のめりになりながら奥のベッドへ移乗させたとき、	26	921	19	~	1000

			無理な姿勢をとったため、腰に痛みが発生した。				9999
2017	12	16~17	病院本館1階のラーニングセンターにおいて、心肺蘇生研修を受けていた。椅子に意識不明の人が座っており、下に降ろすという設定で実技を開始した。2人1組になり、背後より上肢を持ち、もう1人は下肢を持って持ち上げようとした瞬間、腰の骨がボキッと鳴り、痛みがはしって立ってられなくなり、そのまま入院となった。	63	921	19	1000 ~ 9999
2017	12	10~11	被災労働者は、当院栄養管理棟厨房にて、フードカッターの清掃を行っていた。清掃時は同機器の蓋を開けた状態にしており、刃が露出した状態となっていた。被災労働者が同機器の電源部分の清掃を行っていたところ、勢いで電源がONとなり、左前腕部近くにあった同機器の刃が回転を始めたことにより、左前腕部を刃によって裂傷した。	32	165	8	500 ~ 999
2017	12	23~24	夜勤中、廊下のカウンターで見守りをしていたとき、患者がベッド柵を乗り越えようとしたため、声かけに行く途中、床が濡れていたために足が滑って左側に転倒し、左肩を打撲した。	55	417	2	300 ~ 499
2017	12	14~15	勤務している病院の2Fから3Fへと続く階段にて、患者のリハビリ中に階段を踏み外し、足を捻って負傷した。	26	413	19	50~ 99
2017	12	14~15	重度認知症デイケア内にて、調子の悪い男性利用者が、声をかけた女性利用者の方へ向かわれたため、他のスタッフと一緒に声をかけながら間に入ると、急に立腹し、股間を3回程蹴られたため、他のスタッフと対応を代わった。蹴られた箇所は、以前から痛みのような違和感があったが、蹴られた後から痛みが酷くなった。	34	719	90	100 ~ 299
2017	12	16~17	認知症デイケアを実施しているコミュニティルーム内で、デイケア終了後、21人分のマグカップを食器棚へ片づけようとテーブルの間を抜けながら移動していたところ、右足首を内反側に捻った。その後、足背の腫脹、熱感、内果の周囲と足背のアーチに沿って圧痛	36	417	19	100 ~ 299

			が生じ、立位および床への接地、下肢挙上、母指可動が不可となった。				
2017	12	14~15	病院8階西病棟で、洗濯室と乾燥室の間のドアの下に置いてあるゴミ箱を取ろうとしたとき、左手の小指がドアの隙間に入り、挟んでしまった。その際、重たいドアが、指が挟まったまま閉じてしまい怪我をした。	63	419	7	500 ~ 999
2017	12	16~17	血液浄化療法室にて、全介助の患者が透析治療を終了したため、電動ベッドにて腰を起こし、ベッドサイドに座位をとってもらい、1人の看護師が車椅子に固定し、本人が両脇に腕を入れて患者を立たせ、車椅子へ移動をしたとき、左腰部を痛めた。	54	911	19	100 ~ 299
2017	12	16~17	病院管理栄養部下膳室の食器洗浄機前で、食器消毒保管庫に食器の入ったかごを入れ、食器洗浄機から流れる食器を取ろうと移動した際に、滑って尻もちをつき、背骨付近を圧迫骨折した。	66	417	2	500 ~ 999
2017	12	4~5	病院A棟5階東病棟の病室にて、患者のオムツ交換・吸引をしている際に腰痛があり、身動きがとれなくなり、病院受診の結果、腰椎ヘルニアとの診断を受けた。	28	921	19	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html